

2019 年度 都市計画実習 社会的ジレンマ班

NO MORE 24 時間営業

班員：生田陽菜（班長）、猿橋拓己（副班長）、伊藤彩公子

周毅愷、根本裕都、長谷澤未来、松本涼太

担当教員：谷口綾子 TA：木村航太

目次

第1章 はじめに

1.1 研究背景	-----3
1.2 目的	-----3
1.3 仮説	-----4
1.4 研究の全体フロー図	-----4
1.5 仮説モデル	-----5

第2章 調査

2.1 国内外事例調査	-----6
2.2 アンケート調査	-----12
2.3 コンビニヒアリング調査	-----18
2.4 セイコーマートヒアリング調査	-----37

第3章 まとめ -----39

第4章 謝辞 -----41

第5章 参考文献 -----42

付録 -----43

第1章 はじめに

1.1 研究背景

2019年4月、セブンイレブン・ジャパンの24時間営業をめぐる加盟店との問題は社長交代にまで及び、同月25日には非24時間営業を希望するフランチャイズ加盟店が約100店舗あると発表した。この事件を発端とし、労働の24時間化が人々の生活に及ぼす影響についての関心が高まりつつある。これまで日本では長時間労働に対する関心は高い一方、労働の「時間帯」への関心はほとんど払われていなかった。しかし、黒田・山本（2011）[1]は深夜や早朝の時間帯での就業率の上昇を背景とする過労やストレスの問題を指摘しており、高本・古村（2018）[2]は大学生の深夜のアルバイト就労による抑鬱状態や精神的不調を指摘している。平成29年度の警視庁の発表によると、コンビニ強盗の発生率は午前3時から午前4時までが25.3%と最も多く、午前2時から午前5時までは全体の67.1%を占めている。

また、大手コンビニ企業は、「コンビニが24時間営業をする理由」を主張する。例えば、市場原理主義の考え方において、政府による市場への介入や規制の極小化を主張する。そして、ローソンの竹増貞信社長は、10年以上前のローソンの時短営業の実験において24時間営業をしているときより、朝、昼の売り上げが減る（AERA 2017年12月18日号）ことを指摘し学習院大学の小塚荘一郎教授（法学科）は、営業時間を短縮する店舗により、消費者は各店舗の閉店時間を調べてから利用するよりも、このチェーン店舗は全て深夜になると閉店しているかもしれないという前提で行動する可能性が高いと指摘している（日本経済新聞 2019年4月10日）[3]。

加えて、岡田（2016）[4]はコンビニエンスストアが及ぼす正の外部性と負の外部性について指摘している。正の外部性としては、①商品購入やサービス利用のための移動時間削減による便益や②女性や子供がいざという時に駆け込めるという防犯面での便益が挙げられ、負の外部性としては、①騒音（室外機等の音、商品搬入の音、たむろした利用客の話し声、車やバイクの騒音）②臭気（店舗からの排気、ゴミ箱からの臭気）③光（店舗や看板の照明）④景観悪化や住宅街のイメージの悪化⑤周辺道路交通量の増加が挙げられる。

これらのことから、私たちはコンビニの深夜営業に伴う深夜就業や犯罪の誘発、周辺環境の悪化を深刻な問題であると捉え、「コンビニが24時間営業をする理由」を検討し、24時間営業の必要性を検証する必要があると考える。

1.2 目的

1-1:政府はコンビニの24時間営業問題に介入すべきか検証する。

（政府介入の是非を検討）

1-2:消費者は近隣のコンビニに類似する店舗の営業時間を把握していることを明らかにする。

（類似店舗の営業時間認知度測定）

1-3:コンビニの夜間営業停止は昼間の売り上げに影響しないことを明らかにする。

（夜間営業停止による昼間への影響を調査）

1-4:地域属性別にコンビニの深夜帯利用の差を明らかにする。

1-5:24時間営業のコンビニが立地することによって周辺住環境にどのような影響を与えるのか、地域の特性別に調査し、負の外部性、正の外部性の効用を比較する。

（周辺住環境への影響測定）

1-6:コンビニ利用者の属性によってコンビニ利用時間帯にどのような違いがあるのか調査し、コンビニエンスストアが24時間営業である必要性を比較する。

（利用者の属性による使用時間帯の差を調査）

2:1-1~1-6 を総合し 24 時間営業の必要がないコンビニモデルを明らかにする。

3:2 のモデルをもとにつくば市内で 24 時間営業が不必要であると推測されるコンビニを挙げる。

以下で私たちは、コンビニエンスストアの 24 時間営業について①企業目線と②店舗目線と③利用者目線の 3 つの調査を実施する。

1.3 仮説

研究目的を達成するための作業仮説として、以下を設定する。

利用者目線の仮説

1-1. 生活用品の買い物利便性の小さい地域や、夜間人通りはあるが周囲が暗い地域では正の外部性が勝るのではないかな。

1-2. 負の外部性は周辺の建物立地によって、騒がしい地域より閑静な地域において勝るのではないかな。

2-1. 高齢者の多い地域では深夜営業は必要なく、大学生の多い地域では必要なのではないかな。

3-1. 高齢者が多く住む公共施設や、保育園などのない静かな住宅地で、街灯などにより夜間周囲が暗くなく、生活用品の買い物がしやすい地域ではコンビニエンスストアは 24 時間営業である必要はないのではないかな。

1.4 研究の全体フロー図

本研究の流れをフロー図（図 1）に表す。

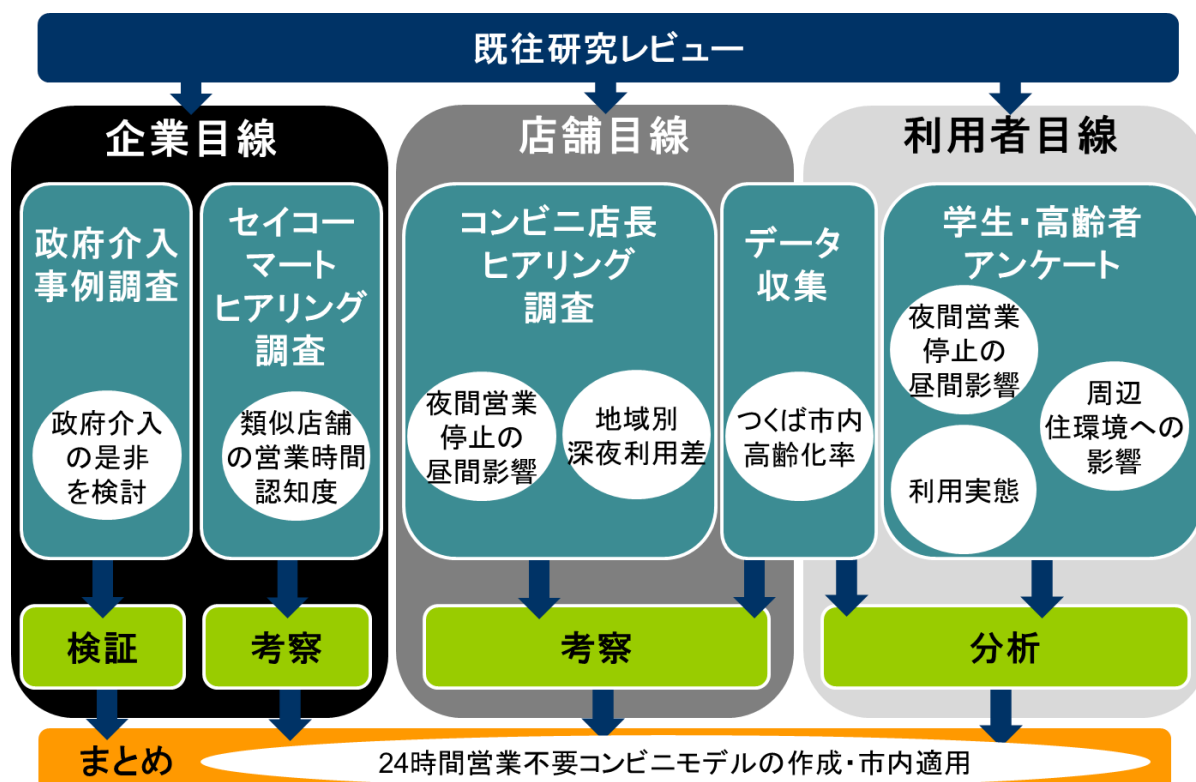


図 1

1.5 仮説モデル

本研究に使用する仮説モデルを以下に示す。（図2～5）

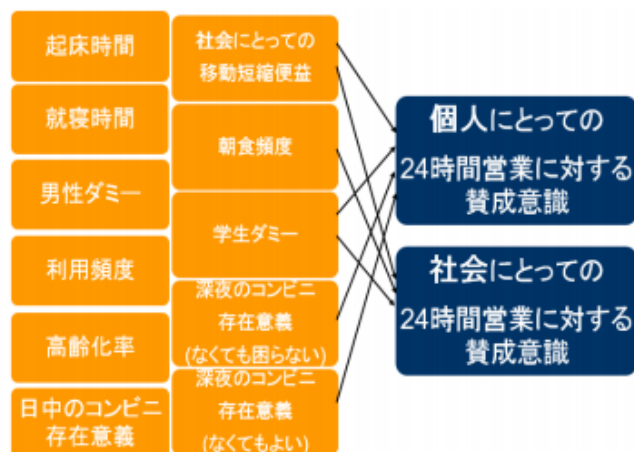


図 2

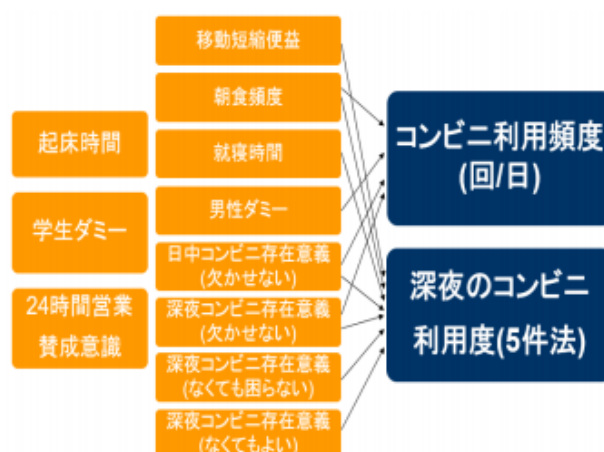


図 3

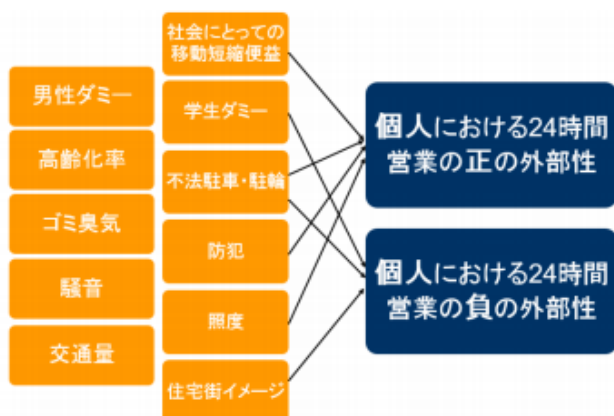


図 4

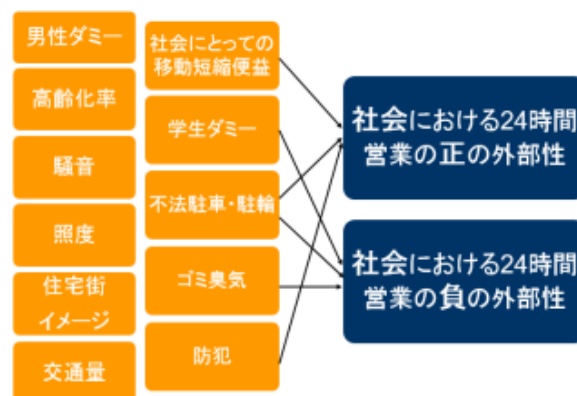


図 5

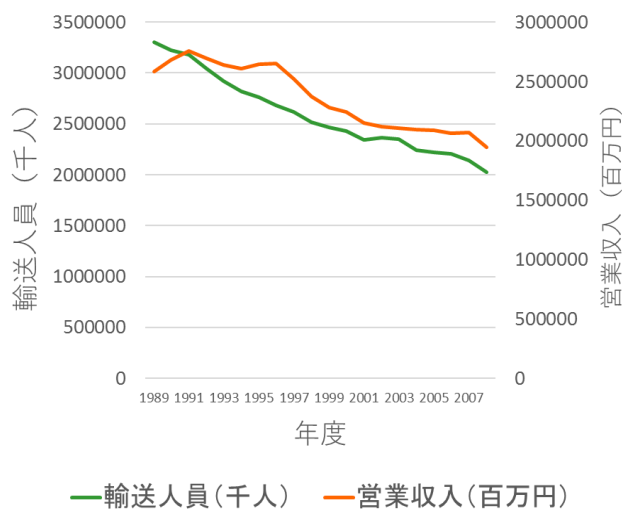
第2章 調査

2.1 国内外事例調査

2.1.1 調査概要（国内事例）

24時間営業三星側の意見として、市場は自由な競争に任せるべきだという意見が存在する。そのため、タクシーの規制緩和についての事例調査を行い、規制緩和の是非を検討する。

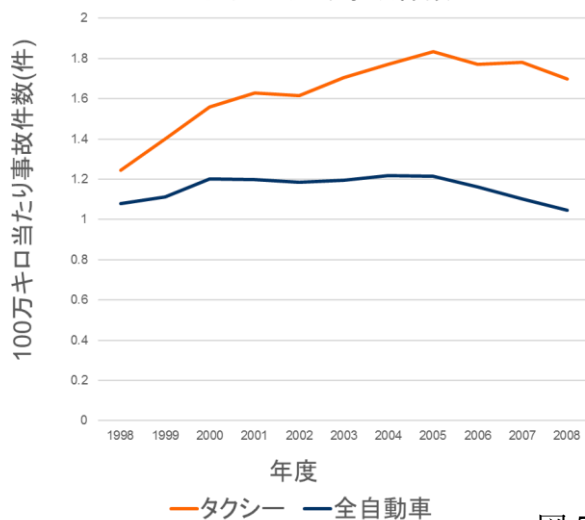
ハイヤー・タクシーの
輸送人員と営業収益の推移



「輸送人員及び営業収益の推移」一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会
http://www.taxi-japan.or.jp/pdf/toukei_chousa/eigyousyuunyu_suii.pdf

図 6

タクシー及び全自動車の
100万キロ当たり事故件数



自動車運送事業用自動車事故統計年報より

図 7

2.1.2 調査結果（国内事例）

左の図1でわかるようにタクシー需要は、継続的な運賃値上げの影響で、減少が続いた。そのため、政府は2002年（平成14年）に規制緩和を実施し、タクシー需要の回復を目指した。

規制緩和によって、既存の事業者からの独立による新規参入だけでなく、異業種からのタクシー事業への進出や、大手タクシー事業者の全国展開が行われ、タクシー台数は増加した。

タクシーの台数が増加した一方でタクシー需要は回復しなかったため、タクシー1台当たりの営業収入は減少した。しかしながら、タクシー会社は1台当たりの営業収入の減少を台数の増加で補ったため、タクシーは過密状態となってしまった。

また、タクシー1台当たりの営業収入が減少したために、運転手は客を見つけようと急ぎ、注意力が散漫になる。このような理由で事故の増加につながってしまう。左の図2からタクシーの交通事故件数は自動車全体の交通事故件数に比べて目立って増加していることがわかる。

規制を緩和したためにタクシーは過密状態に陥り、タクシー運転手には負荷がかかる結果となった。すなわち、規制は必要だったのではないかとということが予想される。

また、タクシー会社が収入を上げるためにタクシー台数を増やして、タクシー運転手に負荷を与えたことは、大手コンビニ企業が収入を上げるために24時間営業を求め、オーナーに負荷を与えていることに類似しており、社会的ジレンマが起きている。



図 8

2.1.3 調査概要（海外事例）

24 時間営業に対する規制が厳しいフランス・ドイツや日本と同じく 24 時間営業の見直しが問題となっている韓国など、海外の 24 時間営業規制の過去の事例を新聞記事や報告書などから調査した。

2.1.4 調査結果（海外事例）

以下は新聞記事や報告書をまとめたものである。（まとめ作成者 松本）

<韓国①>

「最低賃金の津波」が押し寄せる韓国

韓国と日本で営業時間を短縮しようとするコンビニエンスストアが増加している。コンビニ営業の象徴ともいえる「24 時間営業」の慣行も両国ともに幕を下ろす兆しだ。だが営業時間を短縮する理由は異なる。労働力不足が深刻な日本では追加手当てを払っても深夜に働く人を確保できず涙を飲んで深夜営業を断念している。これに対し韓国では急激な最低賃金引き上げの余波で収益性が合わせられずコンビニが深夜営業から手を引いている。

韓国でもコンビニ加盟店主が 24 時間運営を敬遠する傾向だ。韓国コンビニ最大手の CU は昨年末基準で全 1 万 3 000 店のうち 19%ほどが深夜時間帯の営業をしていない。2016 年には 12%にすぎなかったが最近急激に増えた。

他のコンビニも状況は似ている。2～3 年前まで 10%未満にすぎなかったが、昨年末に GS25 は 13.6%、セブンイレブンは 17.6%まで上がった。

コンビニが夜にシャッターを下ろす様子は似ているが、24 時間営業のコンビニが減少する理由は日本と大きく異なる。韓国ではコンビニで働く人材を探すのはそれほど難しくないが、この 2 年間に最低賃金が急上昇しコンビニの深夜収益性は大きく悪化した。

最低賃金は 2017 年の 1 時間当たり 6470 ウォンから今年は 8350 ウォンに 29%上昇した。常勤労働者 5 人以上の事業者が運営するコンビニは午後 10 時から午前 6 時までは最低賃金の 1.5 倍を払わなくてはならない。問題は最低賃金に合わせて給与を払えば店主は収益を合わせにくいというところにある。店主は「深夜まで営業すれば残るものがない」と訴える。客が少ない冬季やオフィス街などは特に効率が落ちると指摘される。

政府規制も一役買った。公正取引委員会は昨年から午前 0 時から午前 6 時の深夜時間に直前 3 カ月間赤字を出したコンビニに対しては契約期間中でもいつでも深夜営業を中断できるよう規定を変えた。これまで 6 カ月だったものを半分に短縮した。違反すればコンビニ本社には是正命令を下し課徴金も科す。

ワーク・ライフ・バランス、週 5 2 時間労働制などの社会トレンドも一部影響を及ぼした。夜遅くまで会社で会食をしたり、残業する会社員が減少し深夜時間にコンビニを営業することは店主にとってさらに大きな負担となった。

引用記事：コンビニ深夜営業中断…日本「労働力不足」 v s 韓国「人件費耐えられない」：[©韓国経済新聞／中央日報日本語版]:2019 年 3 月 4 日

https://s.japanese.joins.com/article/j_article.php?aid=250812

<韓国②>

過当競争の中、最低賃金の上昇と労働時時間 52 時間制が追い打ち

日本ではコンビニエンスストアの 24 時間営業の見直しが問題になっているが、韓国でも営業時間を短縮して 24 時間営業の看板を下ろすコンビニが増えている。韓国コンビニエンスストア最大手の CU は深夜営業を行わない店舗が 2 割近くになり、GS25 とセブンイレブンは 6.5 店に 1 店が深夜営業を行っていない。営業時間を短縮する要因としては、日本ではアルバイトの確保など人材不足が大きいですが、韓国では最低賃金の上昇と売上不振による影響が大きい。

また、2018 年 7 月から労働時間 52 時間制が導入され、会社員が夜遅くまで残業をすることがなくなった。退勤後の会食も減り、帰宅時間が早まった会社員が深夜に買い物をしなくなったが、夜 10 時から朝 6 時までの深夜時間、コンビニ店主は従業員に最低賃金の 1.5 倍の時給を支払わなければならない。全国コンビニ加盟店協会によるコンビニ店主の平均月収は 2017 年の 195 万 5000 ウォンから 2018 年は 130 万 2000 ウォンまで落ち込んだ。

引用記事：佐々木和義：「韓国コンビニも営業時間短縮、しかし日本とはかなり事情が異なる」：Newsweek:2019 年 3 月 29 日

<ドイツ>

ドイツでは、閉店法という法律により、店の営業時間が規制されている。キリスト教では日曜日が安息日と定められているので、「日曜、祝日は閉店」が基本だ。また、労働者の休息時間を守り、小売店の営業時間延長による競争を阻止するため、「月曜日から土曜日までの小売店の営業時間は、6 時から 20 時」という決まりが守られていた。

ただ、2006 年には、閉店法の権限が国から州に移り、その後は各州で規制緩和が続いた。現在は 16 の州のうち、9 つの州が月曜から土曜、3 つの州が月曜から金曜の 24 時間営業を認め、14 の州が年 4 回、またはそれ以上の日曜日の営業を認めた。しかし、法律改正後、ドイツ人は喜んで、店の営業時間を長くしたかというところではない。今でも多くの店で、24 時間営業や日曜営業は行っていない。フランクフルト中央駅には、スーパーとパン屋が合計 17 店舗入っているが、24 時間営業しているのは、2 軒のパン屋だけだ。「なぜドイツ人は店が閉まっても気にしないのか」といえば、「自分も休んでいるから」の一言に尽きる。ドイツには「深夜や日曜日は休むべき」という価値観が前提としてあり、自分自身が休んでいるのだから、他人に「働け」とは言わない。

引用記事：雨宮紫苑：日本の過剰労働は、「お客様」の暴走が原因だ-理不尽な要求にノーといえる文化を作ろう-:東洋経済オンライン：2016 年 11 月 22 日

<https://toyokeizai.net/articles/-/145385?page=3>

<欧州における日曜・夜間営業の経緯>

欧州における営業日・時間の経緯は、歴史をひもとくと、ローマ帝国時代までさかのぼることになります。西暦 321 年にローマ帝国のコンスタンティン皇帝が日曜日を休日と決めて以来、キリスト教国では、日曜日はミサの日となり、仕事は禁止されました。12 世紀に入ると、ローマ帝国内ではユダヤ人やサラセン人といったイスラム教徒にまで拡大されており、欧州では 1800 年間もの間、ずっとこの適用が続いています。1877 年、スイスで施行された「労働法」において、労働者の日曜労働禁止が盛り込まれたのを始めとして、1900 年には、ドイツ帝国において「閉店法」が施行され、小売業の営業は平日の 5 時から 21 時までとされました。フランスでは 1906 年に政教分離された第三共和制により、日曜日は全ての労働者にとって休日であると定められています。当時の背景として、欧州における被雇用者の平均寿命が 40 歳以下であった時代であり、激しい労働運動の末に労働者たちが勝ち得た権利として、非常に重要な出来事であったと思われますが、制定された理由としては大きく三つ挙げられると思います。

一つ目は、歴史から見ても宗教的、文化的なものであり、日曜はキリスト教の安息日であり、宗教的観点からその慣習を保護する理由が挙げられます。

二つ目としては、労働者保護が挙げられます。小売店の営業時間が長くなると、結果として労働者に長時間労働を強いられる可能性があり、これを防ぐために日曜営業、夜間勤務を制限するとされています。

三つ目としては、小規模小売店舗の保護が挙げられます。営業時間が法制化されていないと、資本金のある大規模店舗が営業時間を延長して、小規模店舗の客を奪ってしまうことにより、結果的には小規模小売店舗が生き残れなくなるという理由です。

<ドイツにおける状況...原則日曜営業は禁止>

前述したドイツの「閉店法」についてですが、実は数々の例外規定を設けてあります。同法は薬局、ガソリンスタンド、空港や駅、観光地の店舗などに特例を認めており、例えばガソリンスタンドは「全ての日について 24 時間営業できる」こととなっています(法 第 6 条 1 項抜粋)。通常、観光客はあまり行きませんが、ガソリンスタンドには相当数の食料品や日用品が販売されており、ドイツ人にとってガソリンスタンドは、日本での「コンビニ」の役割を果たしているとも言えます。また、2006 年のドイツ・ワールドカップの際に、期間限定で営業時間が拡大されたほか、9 月 1 日にドイツ連邦基本法(憲法)の改正が実施され、「閉店法」を定める権限が連邦政府から州政府に委譲されたことにより、州政府が営業時間をそれぞれ自由に規定できるようになりました。各州で相当の議論を重ねた結果、ドイツ 16 州のうち 12 州で平日の 24 時間営業が認められたほか、日祝祭日は年 3~6 日程度営業許可を認める州が 15 州となり、通常 12 月のクリスマスまでの日祝祭日は営業できることとなっています。それではこの規制緩和によって、ドイツで 24 時間営業しているスーパーが多いかと言うと、そうでもありません。従来から「閉店法の緩和」を要求していた大規模店舗は改正後に試験的に営業時間を拡大しましたが、それが売上増には結び付かなかったとのこと。また、大幅に営業時間を拡大することはなく、試験的な 24 時間営業の事例は、一部の都市部を除き、殆どなかったということです。更に言えば、ドイツは相当の議論を重ねた上で、原則的に日曜営業をしないことを再確認したとも言えます。後述しますが、この結論が周辺諸国に少なからず影響を及ぼしていることになります。

<スイスにおける状況...欧州一厳格な規制の緩和>

スイスにおいても、営業法により、小売店は月曜から土曜の 6 時から 23 時まで営業できることとなっています。しかし、各州においては、労働者の保護を目的とした労働法を優先しなければならず、州法で営業時間を制限(通常 18 時 30 分まで)しています。しかし、この場合もガソリンスタンドの売店や家族経営の小売店などでは営業時間の延長が認められており、空港や観光地でも同様です。但し、ガソリンスタンドの売店においても、深夜 1 時から朝 5 時までの間は販売可能な商品が制限されており、売店の陳列棚の一部をカバーで隠さなければなりません。このようなガソリンスタンド売店がスイス全土で 1330 店舗も存在しており、スイスは欧州において、日曜・夜間営業が最も厳しい国と言えます。今年 9 月、スイスにおいて、「日曜日の営業時間延長の是非」の住民投票が実施され、約 55.8%の賛成を集めた結果、営業法が改正されることになりました。これによりガソリンスタンドや高速道路沿いのレストランは、日曜・夜間も営業できるようになりました。しかし、昨年 6 月にチューリヒ州で行われた「小売店営業時間の自由化を求めるイニシアティブ(国民発議)」は 70.7%という明白な結果で否決されており、営業時間の完全自由化には否定的な結論となっています。

<南欧における状況...営業時間規制緩和とその効果>

南欧諸国については、近年小売業の営業時間規制が緩和される動きが目立っています。2010 年にポルトガルにおいて、小売業の営業時間規制が緩和されたほか、スペイン、イタリアにおいても 2012 年 6 月に規制緩和が決定しました。スペインでは、現行法で基本的に日曜日は営業が禁じられていましたが、政府が進める経済立て直し策の一環により、マドリード首都圏にある全ての店舗において、日曜を含む 24 時間営業が可能となりました。25%を超える失業率である同国の雇用促進につながると期待されての施行です。ポルトガル、イタリアについてもほぼ同様の理由により営業時間規制の緩和を決定しており、昨今の景気動向や失業率を踏まえた動きとなっていますが、施行から 1 年程度経過した段階では、まだその効果は見えていないようです。実際、イタリアではイタリア商業連盟が景気浮揚効果を疑問視しており、規制の復活を求めています。

<フランスにおける状況...複雑な規制と複雑な現状>

①日曜営業は原則禁止、夜間営業は 21 時から 6 時までは禁止。(例外)自営業は原則可能

②夜間営業には労働組合との交渉が不可欠だが、デパート系小売業はスーパー系と異なり、店舗毎に交渉が必要であり、交渉締結へのハードルが高い。

これらの現状を踏まえつつ、今年 5 月からは「日曜・夜間の店舗開店を合法化しよう」という運動が起きています。運動の主体はイル・ド・フランスの大手修理道具販売店で、立地地域や競争のアンバランスを主張しています。これに対し、労働組合は、社内での組合との合意書を巡り、労働法違反として各社を訴えるケースが相次いでいます。

まず、大手ホームセンターチェーンの Bricorama は、労働組合の告訴により 2012 年 12 月に観光地、消費特別地区に立地していない 32 店舗の日曜営業を中止するよう命じられました。すると同社は消費特別地区に立地している競合社の Castorama と Leloy Merlin を競争のアンバランスを理由に訴えを起こし、裁判所は合計 15 店舗の営業の一時中止命令のほか、日曜営業を中止しない場合は 1 店舗につき 1 日 12 万ユーロ(約 1600 万円)の罰金を科すと判断したのです。

夜間営業に関しても、シャンゼリゼ通りの Sephora(化粧品・香水小売)は社外の労働組合に訴えられ、24 時までの夜間営業を中止しない場合は 1 日 8 万ユーロ(約 1100 万円)の罰金を科すと判断されたほか、Saint Lazare 駅の中にあるカルフル・シティーも同様の訴えにより、日曜の午後 1 時以降と夜間営業ができなくなっています。その他、これまでに BHV(日用品小売)、Franprix、G20、Super U(以上スーパー)、Galeries Lafayette、Monoprix(以上百貨店)のほか、アップルストアやユニクロまでも夜間営業を停止したとのことです。この国内での泥沼化した状況について、現政権は現行法を指示している一方、フランス 国営郵便局 La Poste の前総裁を登用したうえで、現行法の問題点を調べさせ、11 月末までに提言を出すこととしました。

<現段階でのフランスの結論>

12 月 2 日に、La Poste のバイイ前総裁からエロー首相に対し、日曜営業規制に関する報告書が提出されました。まず驚いたのは、今回の報告書はあくまでも日曜営業規制に関する報告であり、夜間営業については何も記載されていません。21 時以降の営業は労働組合の合意が必要であることから、日曜営業よりも相当ハードルが高いものと思われる。

(報告書の要点)

1. 2015 年 7 月 1 日を目途として、業種別の日曜営業容認制度を見直すこと。また、家具販売店の日曜営業容認を取り消す。
2. 特別許可条件を緩和し、市長許可による日曜営業を年 5 回から 7 回にするほか、これとは別に年 5 回を店舗の裁量で営業可能とすること。
3. 日曜営業が認められる指定地区制度を一本化し、市町村レベルで地区を指定する。地区の指定においてはこれまでよりも大きな区割りにし店舗間格差を最小限にするよう配慮すべき。
4. 観光地区と消費特別地区の労働条件を一本化し、従業員の待遇が高いほう(消費特別地区では 2 倍の日当と代休を付与)に合わせるべき。

報告書の結論として、日曜営業は引き続き原則的に禁止の方針を維持しつつ、これまで例外となっていた条件を整理する内容となっています。最初に、今回の報告の発端となったホームセンターの日曜営業については、これを明確に否定しただけでなく、2008 年から法的に認められていた家具販売店の営業さえ禁止されてしまいました。しかし、市長の許可により、年間最長 12 日の日曜営業が認められることとなったほか、指定地区については、国から自治体レベルでの指定制度に一本化される見込みです。特筆すべきなのは、指定地区制度の一本化により、これま

で観光地区で適用されなかった労働条件が適用されることだと思います。これまで観光地区での店舗では、日曜勤務での日当や出勤条件は、平日のそれと変わらなかったのですが、この報告により、日曜営業の収支次第で営業店舗の増加は見込まれないと思われます。

一部には営業を認める動きもありますが、総じて欧州全体では、原則として日曜・夜間営業が依然として否定的であり、消費者よりも労働者や競合小売店舗を重視している姿勢がうかがえます。最後に、消費者側からの日曜・夜間営業に関するニーズを調べてみました。

イル・ド・フランス州の市民の 80%は日曜営業の方針を支持しており、フランス全体でも、日曜営業規制の緩和を求めている消費者は 2008 年 47%から 2013 年 68%に増加しています。また、日曜・夜間勤務についても、ボーナス付の賃金が付与されるなら、フランス国民の 3 分の 2 は勤務すると答えています。ただ、これを逆に読むと、国民の 3 分の 1 は例えボーナスをもらったとしても勤務しないと回答しています。また、パリ商工会議所の調査によると、日曜営業はイル・ド・フランス州における 1 万 5 千人の雇用創出につながると指摘しています。しかし、労働組合を背景とする左派だけでなく、カトリック教会や伝統を重んじる右派でさえ、日曜営業には否定的です。中道政党・民主運動のフランソワ・バイル議長は「商売が最優先にされない日が週に 1 度は必要だというのは、進んだ文明の考え方でもある」とコメントしています。ヨーロッパの人々が持つ価値観がこの一言に集約されているのではないかと思います。

引用文献

舩田 崇：一般報告書：「フランスにおける小売業の日曜・夜間営業の状況」：パリ産業情報センター 舩田 崇：平成 25 年 12 月 10 日

韓国においては、過去二年で最低賃金が 20%上昇し、常勤労働者を 5 人以上の事業者が運営するコンビニは午後 10 時から午前 6 時までは最低賃金の 1.5 倍を払わなくてはならない。そのためコンビニオーナーへの金銭的負担が増大している。また、超過勤務の上限が 28 時間から 12 時間へ短縮され、夜遅くまで会社で会食したり残業する社員が減り、深夜のコンビニ利用が減る傾向にある。このような状況を配慮し、公正取引委員会は直前 3 か月の深夜時間帯の売上が赤字の FC 店は契約期間中でも夜間営業中止ができるようになった。

ヨーロッパでは、西暦 321 年にローマ帝国が日曜日を休日と決めて以来、キリスト教国では日曜日は休日とされてきた「宗教的理由」や「労働者保護」や「小規模小売店舗の保護」の観点から、日曜・24 時間営業に対して消極的である。しかし 2000 年代に入り、規制緩和を求める議論が起きている。規制緩和を求める理由として、失業率改善のための雇用促進（スペイン・イタリアなど）と資本力のある大規模店舗の要請（フランス・ドイツなど）が挙げられる。そして、多くの欧州諸国で規制緩和が行われたが、雇用促進の効果は見られず、大規模店舗の売上も伸びず、特にスペインとイタリアの労働組合は再び規制復活を求めている。欧州の事例調査の結果、欧州全体では、依然として日曜・24 時間営業に否定的であり、24 時間営業よりハードルが低い日曜営業開始すら、問題視されていることがわかった。加えて、政府の規制や労働組合の働きにより、各企業の判断で労働時間を延長できないことが分かった。

2.2 アンケート調査

2.2.1 調査概要

アンケート調査は「24 時間営業のコンビニ立地が周辺住環境へ与える影響を地域特性別に調査し比較（目的 1-5）」、「利用者の属性による利用時間帯の差を調査（目的 1-6）」の 2 つの目的で行った。詳細は下記の表 1 に示す。

方法	紙面、Google フォーム
対象	<p>①学生(277 人)</p> <p>A.2019/05/16(木)1,2 限 (情報リテラシー) の中休み(37 人)</p> <p>B.2019/05/21(火)3,4 限 (交通計画) の中休み(80 人)</p> <p>C.2019/06/07/(金)1,2,限 (都市リスクマネジメント論) の中休み(52 人)</p> <p>D.調査者の所属するサークル、部活メンバー(108 人)</p> <p>②高齢者の集まる施設（公民館等）の高齢者(49 人)</p> <p>E.2019/6/3(月),6/5(水),6/10(月)春日交流センター(29 人)</p> <p>F. 2019/6/4(火),6/5(水)竹園交流センター(20 人)</p>
項目	Q 1. 普段の利用状況(目的 1-6 に対応) 利用コンビニ、交通手段
	Q 2. 深夜以外の利用頻度(目的 1-6 に対応) 直近の利用頻度（深夜以外）
	Q 3. 深夜以外の利用状況(目的 1-6 に対応) 利用目的、理由、使用額
	Q 4. 深夜の利用頻度(目的 1-6 に対応) 直近の利用頻度（深夜）
	Q 5. 深夜の利用状況(目的 1-6 に対応) 利用目的、理由、使用額
	Q 6. 24 時間営業に対する意識(目的 1-6 に対応) 24 時間営業に賛成か反対か
	Q 7. コンビニが与える自己と社会への影響(目的 1-5 に対応) 個人的、社会的に利益があるかないか
	Q 8. 自宅近辺のコンビニエンスストア(目的 1-5 に対応) 光、臭気、イメージ、交通量、騒音の悪影響
	Q 9. 基礎情報(目的 1-6 に対応) 居住形態、生活スタイル

表 1

2.2.2 調査結果

筑波大学群生、大学院生 276 人、高齢者 49 人に対し、調査概要の Q1~Q9 のアンケート調査を行い、合計 325 人分の有意な回答を得ることができた。回答者の基本統計について、以下の図表 9~15 で示す。

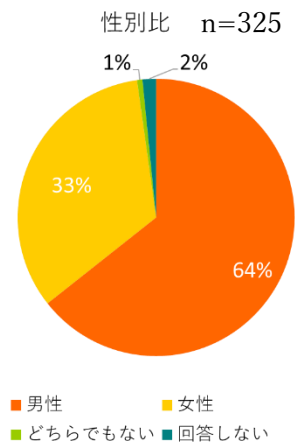


図 9
回答者全体の性別比

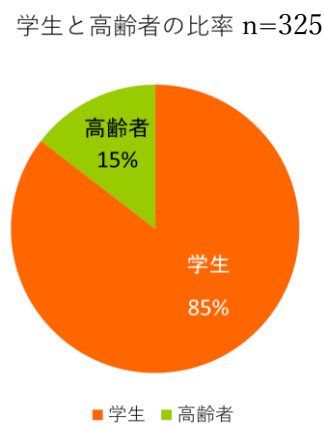


図 10
学生と高齢者の比率

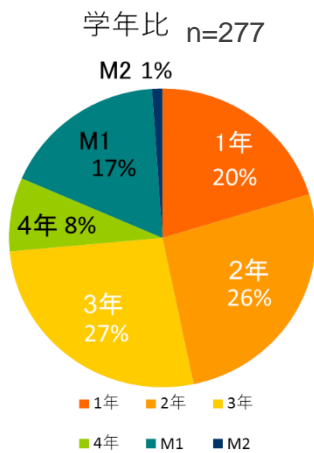


図 11
学生の学年比

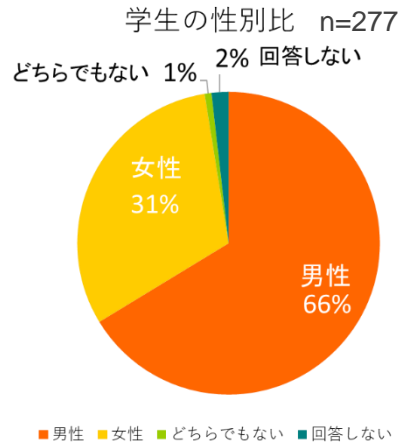


図 12
学生の性別比

学類	人数	学類	人数	生物	0	看護	1
人文	1	工シス	3	生資	11	医療	0
比文	2	社工	129	地球	15	体専	15
社会	1	情科	1	数学	0	芸専	3
国際	21	メ創	1	物理	4	院生	51
教育	4	図情	2	化学	1	無回答	2
心理	1	医学	1	応理	7	総数	277

図 13 回答した学生の学類内訳

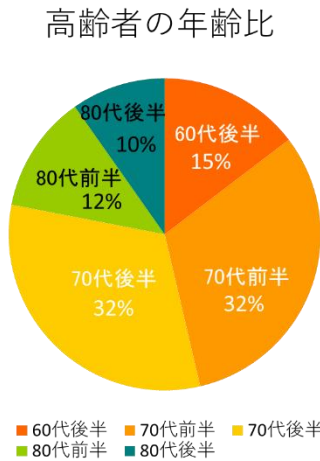


図 14
高齢者の年齢比

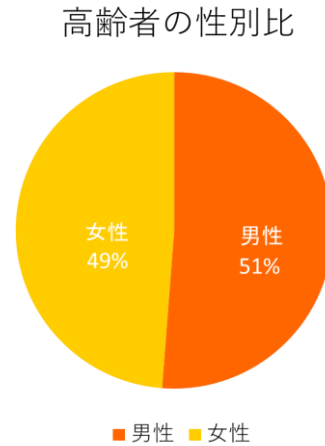


図 15
高齢者の性別比

アンケートの回答分析のために、仮設モデルを設定した。まずは、24 時間営業に対する賛成意識についてのモデルを以下に示す。

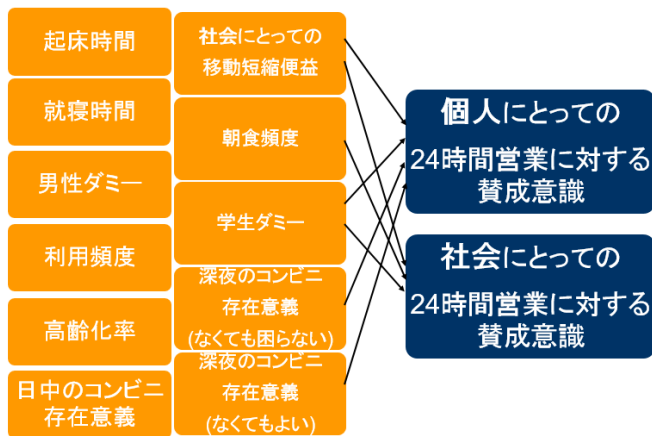


図 16 賛成意識仮設モデル

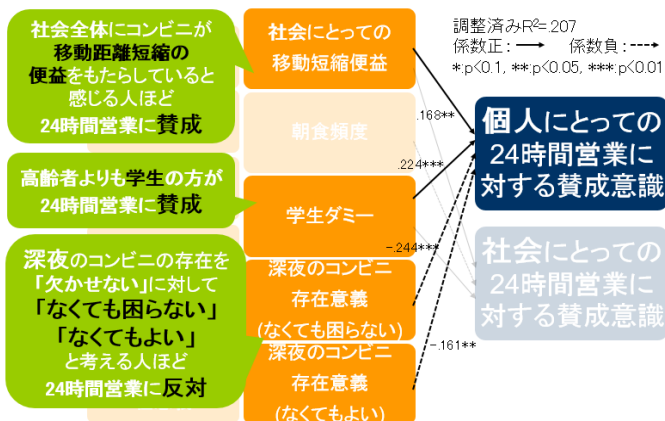


図 17 賛成意識仮設モデル 結果①

「個人にとっての 24 時間営業に対する賛成意識」、「社会にとつての 24 時間営業に対する賛成意識」を従属変数、左のオレンジの項目を独立変数とする。ここで、「個人にとって」と「社会にとつて」に従属変数を分けた理由は、個人と社会の選択がいつも同じとは限らず、社会のことを考慮した判断が有り得るのではないかと考えたからである。このように、社会にとつては不要でも、個人にとって 24 時間営業は便利だから必要という考えは社会的ジレンマに当てはまるといえる。この仮設モデルについて、ステップワイズ法を用いて重回帰分析を行った。

まず、「個人にとっての 24 時間営業に対する賛成意識」を従属変数にした場合の結果は図 17 の通りである。「社会にとつての移動短縮便益」「学生ダミー」「深夜のコンビニ存在意義(なくても困らない)」「深夜のコンビニ存在意義(なくてもよい)」に対して、有意な結果が得られた。よって、社会全体にコンビニが移動距離短縮の便益をもたらしていると感じる人ほど 24 時間営業に賛成する傾向があり、また高齢者よりも学生の方が 24 時間営業に賛成する傾向にあることが分かった。一方で、深夜のコンビニの存在を「欠かせない」に対して「なくても困らない」「なくてもよい」と考える人ほど 24 時間営業に反対する傾向にあることが分かった。

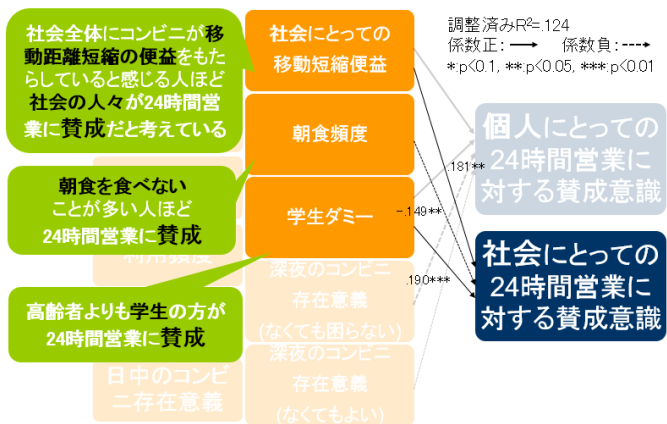


図 18 賛成意識仮説モデル 結果②

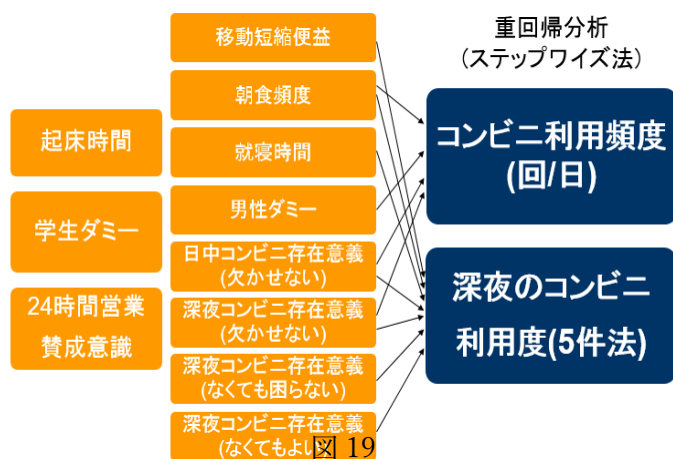
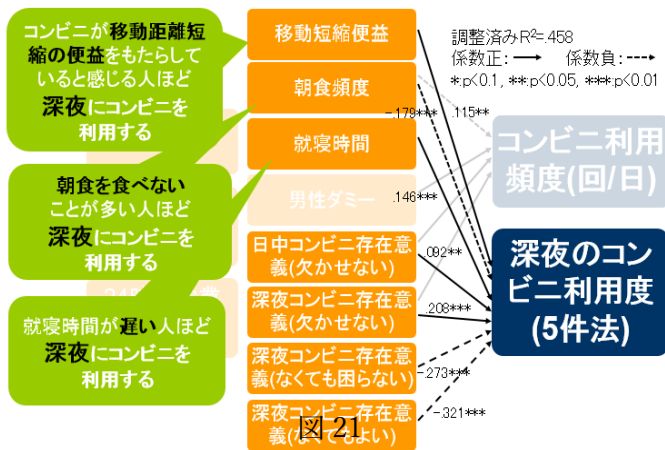


図 20

次に、「社会にとっての24時間営業に対する賛成意識」を従属変数にした場合の結果は図 18 の通りである。「社会にとっての移動短縮便益」「朝食頻度」「学生ダミー」に対して、有意な結果が得られた。よって、社会全体にコンビニが移動距離短縮の便益をもたらしていると感じる人、朝食を食べないことが多い人ほど 24 時間営業に賛成する傾向があり、また高齢者よりも学生の方が 24 時間営業に賛成する傾向にあることが分かった。

左に示す図 19 はコンビニ利用実態仮説モデルである。右の紺の四角形、「コンビニ利用頻度(回/日)」「深夜のコンビニ利用度(5 件法)」を従属変数、左のオレンジの四角形を独立変数とする。この仮説モデルを用いて重回帰分析を行った。

「コンビニ利用頻度(回/日)」を従属変数にした場合の結果は図 20 の通りである。「朝食頻度」「男性ダミー」「日中コンビニ存在意義(欠かせない)」「深夜コンビニ存在意義(欠かせない)」に対して、有意な結果が得られた。その結果から、朝食を食べない人の方がコンビニ利用頻度が高く、男性の方がコンビニ利用頻度が高い結果が得られた。また、コンビニの存在に肯定的な人ほどコンビニ利用頻度が高いということが分かった。



また、「深夜のコンビニ利用度(5件法)」を従属変数にした場合の結果は図 21 通りである。「移動短縮便益」「朝食頻度」「就寝時間」に対して、有意な結果が得られた。その結果から、コンビニがあることによって移動距離短縮の便益を受けていると感じている人、朝食を食べないことが多い人、就寝時間が遅い人ほど深夜にコンビニを利用する傾向があることが分かった。

また深夜利用と朝食頻度の関係のグラフは下の図 22 に示す。

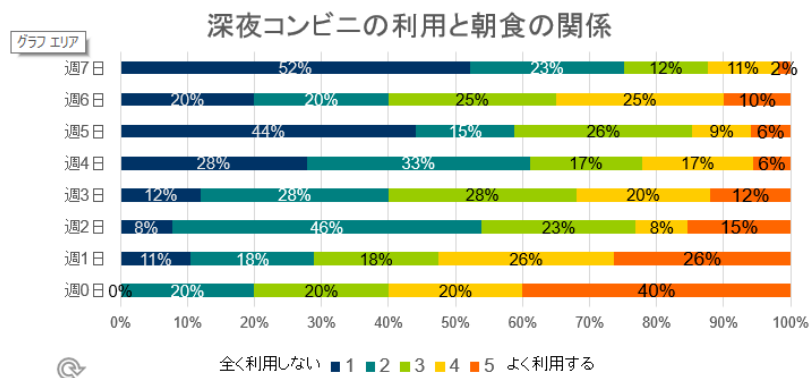


図 22

続いて、コンビニに対する賛否意識に対しての学生と高齢者の比較を行った。前述した通り、あなた自身と一般の人々の選択がいつも同じとは限らなく、また、社会には不要なのに個人にとっては便利だから必要と考えると社会的ジレンマとなってしまうので、賛否の質問は「あなた自身」と「一般の人々」の二つの視点で質問をしている。以下の図 23 が結果である。この結果より、24 時間営業に対して学生は賛成、高齢者は反対という構図なのが分かる。また、学生、高齢者のそれぞれのあなた自身、一般の人々の回答を比較すると、「24 時間営業に自分以外の人は反対していないのでは？」という考えになっているのではないかと推測できる。

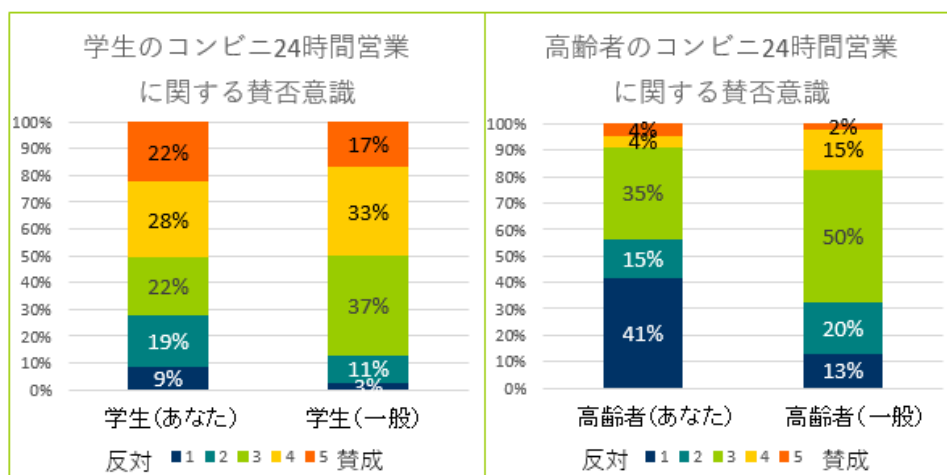


図 23

最後に、利用者の属性による利用時間帯の差を調査した結果だが、図 24 に示す通り学生に比べて高齢者は深夜にコンビニを利用しないことがわかる。

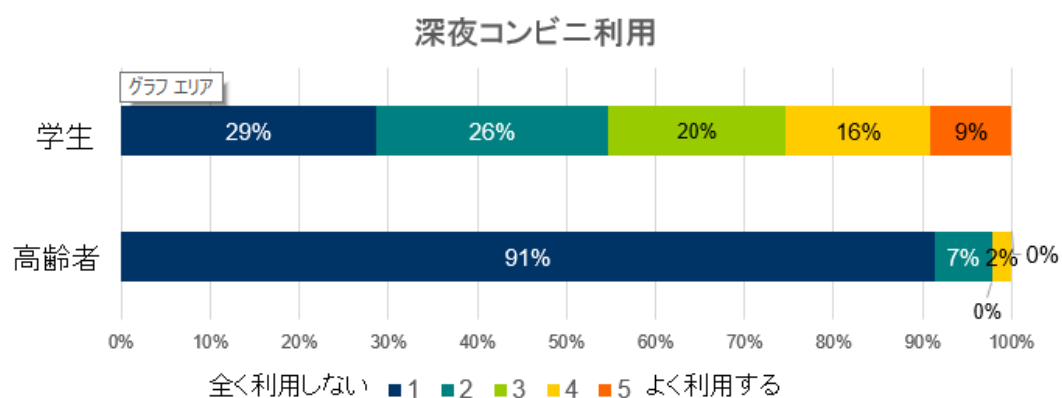


図 24

2.3 コンビニヒアリング調査

2.3.1 調査概要

夜間営業停止が昼間の売上に影響するかどうかを明らかにする(目的 1-3)、地域属性別にコンビニの深夜帯利用の差を明らかにする(目的 1-4)ために販売者の立場であるコンビニオーナー、店長にヒアリング調査を行った。

以下の表 2 にヒアリング調査概要を示す。

方法	つくば市内のコンビニオーナー・店長に 5～10 分のヒアリング調査を行う
対象	つくば市内のコンビニ 9 店舗
日時・対象	5/23(木)11 時～ セブンイレブン天久保 4 丁目店 5/28(火)12 時～ ローソンつくば天久保 3 丁目店 5/29(火)13 時～ セブンイレブンつくば松見公園店 5/29(水)13 時 30～セブンイレブンつくば国際会議場前店 5/30(木)11 時～ ローソンつくば葛城小学校前店 5/30(木)16 時～ (電話にて) セブンイレブンつくば北条店 5/31(金)11 時～ ファミリーマートつくば梅園店 5/31(金)11 時～ ファミリーマートつくば筑穂 1 丁目店 5/31(金)14 時～ セブンイレブンつくば平塚店
項目	(1)時間帯による忙しさの違いについて
	(2)どの時間帯が人手不足か
	(3)24 時間営業をやめた場合のメリット・デメリット
	※(4)夜間営業停止は昼間の売り上げに影響すると思うか
	※(5)同一チェーンの他店舗の深夜営業停止は、自店の深夜営業に影響すると思うか
	(6)深夜営業を中止したいか
	(7)仮に中止するとしたら、どの時間帯に中止したいか
	※(8)深夜営業を中止することで起こりうる、朝の開店直後や夜の閉店間際に品揃えが悪くなってしまうことを容認できるか
	※(9)深夜営業中止によって、納品や清掃など従来客の少ない夜間に済ましていた作業は影響を受けると思うか
	(10)深夜営業時の利益と費用はどちらが大きいのか

表 2

項目(1),(2),(3),(6),(7),(10)においては半構造化インタビューとして、項目(4),(5),(8),(9) (※印について) は 5 件法 [1.全くそう思わない～5.とても思う] で聞いた後その理由を伺うといった構造化インタビューとした。

ヒアリング調査を実施した店舗は上記で記した 9 店舗であるが、以下の表のようにヒアリング依頼をしたが実施出来なかった店舗もいくつかある。以下の表 3 にヒアリング調査が行えなかった店舗を示す。

直前にキャンセル	セブンイレブンつくば北大通店
応答なし・店長不在	セブンイレブンつくば春日4丁目店 セブンイレブンつくば西平塚店 セブンイレブン研究学園西店 セブンイレブンつくば梅園2丁目店 ファミリーマートつくば天久保1丁目店 ファミリーマートつくば竹園店 ファミリーマートつくば春日4丁目店 ファミリーマートつくば花畑店 ファミリーマート TX 研究学園駅店 ミニストップつくば研究学園店 ミニストップつくば天久保店 ミニストップつくば西大橋店 ローソンつくば春日3丁目店 ローソンつくば春日4丁目店
断られた	ローソン梅園2丁目店 ローソンつくば二の宮店

表 3

「実施コンビニの位置とエリア分類」

コンビニヒアリング調査を実施した9店舗を地図上にドットすると下の地図のようになる。これらを北地区、大学地区、南地区に分けそれぞれの店舗の詳細な位置を以下（図 25～28）に示す。

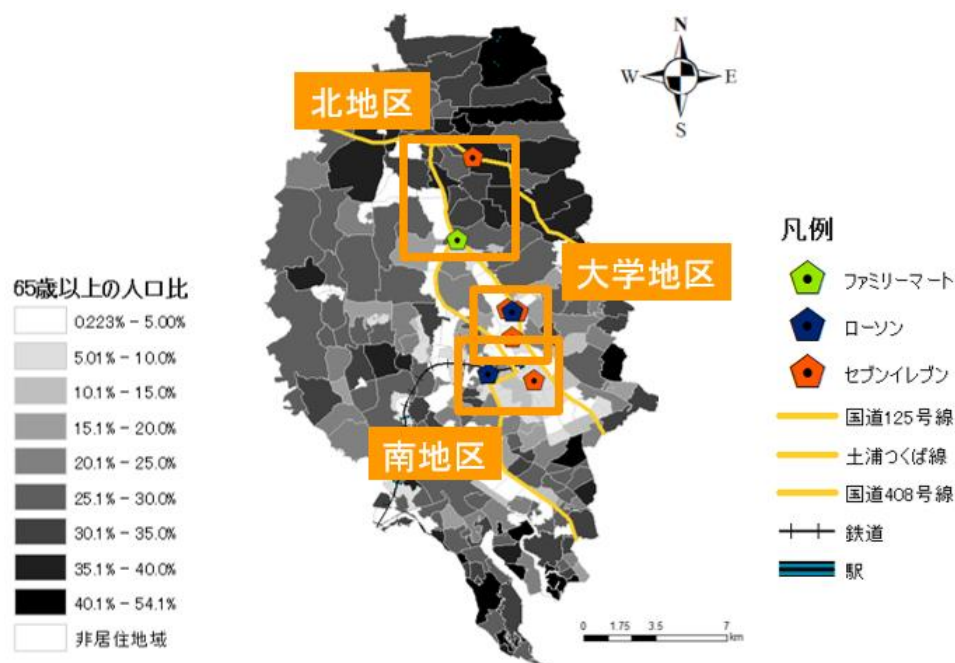


図 25

「北地区」

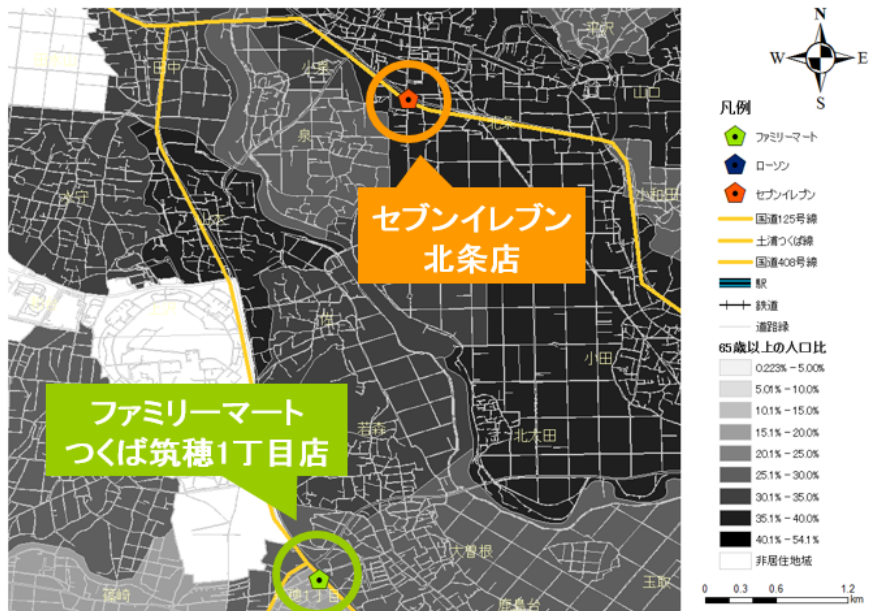


図 2 6

「大学地区」



図 2 7

「南地区」



図 2 8

また、地域属性別にコンビニの深夜帯利用の差を明らかにする(目的 1-4)ためにヒアリング調査を実施したコンビニ 9 店舗をエリアごとに分類した。以下の表 4 に分類を示す。

大学エリア	セブンイレブンつくば天久保 4 丁目店 ローソンつくば天久保 3 丁目店 セブンイレブンつくば松見公園店 セブンイレブンつくば平塚店
住宅街	セブンイレブンつくば国際会議場前店 ローソンつくば葛城小学校前店 ファミリーマート〇〇店 (匿名希望)
高齢化エリア	セブンイレブンつくば北条店
主要道沿い*	セブンイレブンつくば天久保 4 丁目店 ファミリーマート〇〇店 (匿名希望) ファミリーマートつくば筑穂 1 丁目店 セブンイレブンつくば平塚店

表 4

*「主要道沿い」に分類されているセブンイレブンつくば天久保 4 丁目店、ファミリーマート〇〇店 (匿名希望)、セブンイレブンつくば平塚店においてはそれぞれ大学エリア、住宅街、大学エリアにも属しており 2 つのエリアの特性を持っている。一方で、ファミリーマートつくば筑穂 1 丁目店は主要道沿いのみに分類した。

2.3.2 各店舗のヒアリング内容

以下（表 5～13）にコンビニヒアリング調査内容詳細を示す。



① 5/23(木)11 時～ セブンイレブンつくば天久保 4 丁目店

伊藤、根本

実施時間：約 10 分

項目	回答
1. 時間帯による忙しさについて	ピーク時 ①7～9 時(出勤前) ②12～13 時(昼休み) ③17～18, 19 時(退勤後)
2. どの時間帯が人手不足か	・早朝(6～9 時) 給料を 50～100 円上げても集まりにくい ・深夜(22～6 時)
3. 24 時間営業をやめた場合のメリット・デメリット	【メリット】 ・人件費削減 ・人手不足への悩み削減 ・防犯面からワンオペに対する不安減 【デメリット】 ・深夜にやっていた業務が昼間に回る 例：フライヤー ・お客様離れ
4. 夜間営業停止は昼間の営業に影響すると思うか	影響すると思う どの程度かはわからない。お客様側の深夜営業停止に対する理解が必要。深夜営業が当たり前になってきた今は厳しいのでは。
5. 他店(近隣店舗)の深夜営業停止は自店の深夜営業に影響すると思うか	影響すると思う 理由：深夜営業を停止した店舗のお客様が流れてくるから。
6. 深夜営業を中止したいか	今のところは深夜営業に問題はないので中止しなくて良いが、チェーンやコンビニ業界全体が中止の方向に向かえば中止しても良い。
7. 仮に深夜営業を中止するとしたら、どの時間帯に中止したいか	24～5 時 理由：5 時にオープンなら開店から準備しても間に合うのでは。だが、締め作業が増えるのが負担(設備の清掃作業や冷蔵庫、冷凍庫の管理、戸締まり等)
8. 深夜営業時に得られる利益とかかる費用のどちらが大きいか	深夜帯の利益はほぼない 理由：深夜帯に最も高い人件費がかかっているから。

表 5

② 5/28(火)12時～ ローソンつくば天久保3丁目店

年齢：56歳

店長歴：18年

伊藤、根本、長谷澤

実施時間：約8分



質問項目	回答
(1)時間帯による忙しさの違いについて	ずっと忙しいが朝方は少しお客さんが少ない。（アパート近いから）
(2)どの時間帯が人手不足か	人手不足はない。 大学生近いから。（バイトが足りる）
(3)24時間営業をやめた場合のメリット・デメリット	【メリット】 オーナー（自分）の体が楽になる。 【デメリット】 収入はやってみないとわからない。しかしここは24時間回さないと厳しい。利益のためというより品出しなどを忙しい昼間に行いたくない。
(4)夜間営業停止は昼間の売り上げに影響すると思うか※	（この店については）影響しない。
(5)同一チェーンの他店舗の深夜営業停止は、自店の深夜営業に影響すると思うか※	周りのローソンは遠く関係ない。 セブンとかなら近いため客が流れて忙しくなると思う。
(6)深夜営業を中止したいか	体的にしたい。ただ、開いていれば誰かのために便利。 （24時間の休止は）みんなしたいと思うが、ここは立地的に必要である。大学生は朝早いし実験後3時4時にも来るからこの店については24時間回した方が良い。
(7)仮に中止するとしたら、どの時間帯に中止したいか	3時から6時 人は来るが一番少ない時間帯である。その時間は品物が入らない時間と重なる。
(8)深夜営業を中止することで起こりうる、朝の开店直後や夜の閉店間際に品揃えが悪くなってしまうことを容認できるか※	朝はお客さん遅いけど夜は2時3時4時まで来ているから何とも言えない。
(9)深夜営業中止によって、納品や清掃など従来客の少ない夜間に済ましていた作業は影響を受けると思うか※	影響あると思う。（ローソンは半年とか1年で色々変わるため、今は。）年によって変わる。
(10)深夜営業時の利益と費用はどちらが大きいのか	深夜は品出しと売り上げと人件費で同じくらい。昼はもうかる。夜は夜でやらないと昼間は品出しできないので。
こぼれ話	郊外は1時過ぎると会社員とか来なくて客がいなくなってしまうが、大学に近く客が途切れない。特殊である。

表6

③ 5/29(火)13時～ セブンイレブンつくば松見公園店

年齢：49 歳

オーナー歴：10 年

伊藤、猿橋、根本

実施時間：約 15 分

質問項目	回答
(1)時間帯による忙しさの違いについて	朝（7-8 時）、昼間、夜（20-23 時） 23 時以降とても暇
(2)どの時間帯が人手不足か	深夜が人手不足
(3)24 時間営業をやめた場合のメリット・デメリット	【メリット】 経費の削減、人件費 【デメリット】 オープン、閉店の前後 1 時間にお客様が来なくなるらしい（セブンの時短実験によると）
(4)夜間営業停止は昼間の売りに影響すると思うか※	②やや思わない 昼と夜ではお客様の層が異なる
(5)同一チェーンの他店舗の深夜営業停止は、自店の深夜営業に影響すると思うか※	⑤とてもそう思う ATM（セブン銀行）利用者が求めて来る
(6)深夜営業を中止したいか	中止したい 深夜あけておく必要があるのかわからない 都心とは異なる。都心は終電後も人の流れがある。
(7)仮に中止するとしたら、どの時間帯に中止したいか	1 時～6 時あたり
(8)深夜営業を中止することで起こりうる、朝の開店直後や夜の閉店間際に品揃えが悪くなってしまうことを容認できるか※	⑤とてもそう思う 容認はできる。わかりきっていること。 深夜は営業してなくても、他のタスク（掃除、品出し）がある。完全に休めるわけではない * (9)の回答に近い
(9)深夜営業中止によって、納品や清掃など従来客の少ない夜間に済ましていた作業は影響を受けると思うか※	? かわらないと思う 自店だけ 24 時間営業をやめるとなると配送システム自体を変えなくてはならない 難しい。自店だけの問題ではなくなる。
(10)深夜営業時の利益と費用はどちらが大きいか	費用の方が大きい。おそらくどの店舗も
こぼれ話	天久保 1 丁目の飲み屋は学生向けではないためあまり深夜需要はない。一方で天久保 3 丁目は好立地。 カスミが出来たことによる影響は大きい。 100 円ローソンの方が苦しいと思う。

表 7

④ 5/29(水)13時30～ セブンイレブンつくば国際会議場前店

年齢：41歳

店長歴：1年3ヵ月

伊藤、猿橋、根本

実施時間：約13分

質問項目	回答
(1)時間帯による忙しさの違いについて	昼が忙しい 国際会議場やオフィスが近いといった立地から
(2)どの時間帯が人手不足か	早朝、深夜
(3)24時間営業をやめた場合のメリット・デメリット	<p>【メリット】</p> <p>深夜の人件費削減</p> <p>深夜1人雇うのに十何万。ワンオペでは色々と問題があり、2人は必要。そもそも2人も深夜に来てくれない。だからオーナーが働く。</p> <p>【デメリット】</p> <p>深夜作業が朝、昼、夕方にスライド</p> <p>→日中の仕事量が増え、その分人件費もかかる</p> <p>24時間営業の店と差ができる</p> <p>24時間営業じゃない店と認識され、売上が下がる</p>
(4)夜間営業停止は昼間の売りに影響すると思うか※	⑤思う (3)の【デメリット】に記載されている通り
(5)同一チェーンの他店舗の深夜営業停止は、自店の深夜営業に影響すると思うか※	⑤とてもそう思う 他店で深夜に働いていた人がこの店舗（深夜営業店舗）に来るかもしれない
(6)深夜営業を中止したいか	中止したい しかし、売上がついてこない。だから出来ない。
(7)仮に中止するとしたら、どの時間帯に中止したいか	1時～5時 つくば駅からの最終のお客様の受け口的存在のため1時まで しかし、閉店作業、開店準備を行うと考えると、結局休めない
(8)深夜営業を中止することで起こりうる、朝の開店直後や夜の閉店間際に品揃えが悪くなってしまうことを容認できるか※	④ややそう思う 店側がそうならないように納品、発注できるから
(9)深夜営業中止によって、納品や清掃など従来客の少ない夜間に済ましていた作業は影響を受けると思うか※	⑤とてもそう思う 清掃面は売上に直結する。 揚げ物は深夜に機材を洗うことで朝から夜まで販売できる。

	<p>カフェラテ機の清掃（20分）ですら昼間に洗う時間すら見つけられない。お客様が買いに来るかもしれないから</p>
<p>(10)深夜営業時の利益と費用はどちらが大きいか</p>	<p>もちろん費用 人件費が一番高い また、廃棄ロス（深夜間におでんを食べたいというニーズが少しでもあるため作っていきなくてはならない。）</p>

表 8

⑤ 5/30(木)11時～ ローソンつくば葛城小学校前店

年齢：44歳

オーナー歴：5年

伊藤、猿橋、根本

実施時間：約5分

質問項目	回答
(1)時間帯による忙しさの違いについて	どの時間が忙しいとかはない
(2)どの時間帯が人手不足か	人手不足は全時間帯
(3)24時間営業をやめた場合のメリット・デメリット	<p>【メリット】</p> <p>光熱費、人件費を削減できる</p> <p>【デメリット】</p> <p>24時間じゃないので売上が下がる</p>
(4)夜間営業停止は昼間の売りに影響すると思うか※	④やや思う 言い切れないから⑤でなく④
(5)同一チェーンの他店舗の深夜営業停止は、自店の深夜営業に影響すると思うか※	⑤とてもそう思う お客様が深夜にトイレ利用やATM利用を求めて自店にくると思う
(6)深夜営業を中止したいか	今のところはない
(7)仮に中止するとしたら、どの時間帯に中止したいか	今は考えていない
(8)深夜営業を中止することで起こりうる、朝の開店直後や夜の閉店間際に品揃えが悪くなってしまうことを容認できるか※	⑤とてもそう思う 店にとっても客にとっても問題はある
(9)深夜営業中止によって、納品や清掃など従来客の少ない夜間に済ましていた作業は影響を受けると思うか※	⑤とてもそう思う 仕事なくなるスタッフ（深夜に納品や清掃を行っていた従業員）も出るから困るのではないかな
(10)深夜営業時の利益と費用はどちらが大きいかな	費用

表9

⑥ 5/30(木) 16時～（電話にて） セブンイレブンつくば北条店

年齢：36歳

店長歴：1年

猿橋（電話対応）

実施時間：約9分

質問項目	回答
(1)時間帯による忙しさの違いについて	朝、昼、夕方
(2)どの時間帯が人手不足か	特にない
(3)24時間営業をやめた場合のメリット・デメリット	<p>【メリット】</p> <p>従業員の労働時間を減らせる、人件費削減</p> <p>【デメリット】</p> <p>売上が低下する</p>
(4)夜間営業停止は昼間の売りに影響すると思うか※	<p>①全くそう思わない</p> <p>昼と夜でくるお客様は違う</p>
(5)同一チェーンの他店舗の深夜営業停止は、自店の深夜営業に影響すると思うか※	<p>⑤とてもそう思う</p> <p>他店舗が深夜にあいてない分、自店舗に流れて来る</p>
(6)深夜営業を中止したいか	中止したいとは思わない
(7)仮に中止するとしたら、どの時間帯に中止したいか	<p>わからない</p> <p>(6) 番でも深夜営業を中止したいとは思っていない</p>
(8)深夜営業を中止することで起こりうる、朝の開店直後や夜の閉店間際に品揃えが悪くなってしまうことを容認できるか※	<p>⑤とてもそう思う??</p> <p>実際に中止してないのでわからないが、納品が来ないといったことはあると思う</p> <p>*回答とコメントが不一致している気がする。</p>
(9)深夜営業中止によって、納品や清掃など従来客の少ない夜間に済ましていた作業は影響を受けると思うか※	⑤とてもそう思う
(10)深夜営業時の利益と費用はどちらが大きい	<p>費用</p> <p>人件費がなくなることは大きい</p>

表 10

⑦5/31(金)11時～ ファミリーマート〇〇店

年齢：53歳

店長歴：12年

猿橋、長谷澤、松本

実施時間：約12分



質問項目	回答
(1)時間帯による忙しさの違いについて	梅園店は土浦野田通り沿いだから深夜が忙しい。 昼間は飲食店に囲まれているため、お昼ご飯よりはコーヒー、アイス等が売れる。(店ごとに違う。)
(2)どの時間帯が人手不足か	特にない 深夜は信頼を持てる人に任せている。
(3)24時間営業をやめた場合のメリット・デメリット	【メリット】 店によって違う。オフィス街や住宅街なら人件費削減につながるのでは メリットは梅園店ではあまりない 【デメリット】 売上が下がってしまう。
(4)夜間営業停止は昼間の売りにげに影響すると思うか※	②ややそう思わない 夜間、朝、昼で来るお客様は違う。
(5)同一チェーンの他店舗の深夜営業停止は、自店の深夜営業に影響すると思うか※	④ややそう思う 自店に来てくれるため、売上が上がる。
(6)深夜営業を中止したいか	深夜の売上比率が高いため、あまり思わない。 従業員がやめたいと思っても、オーナー次第
(7)仮に中止するとしたら、どの時間帯に中止したいか	24時～5時 トラックの運転手さん（お客様）のためにも5時にはあけておきたい
(8)深夜営業を中止することで起こりうる、朝の開店直後や夜の閉店間際に品揃えが悪くなってしまうことを容認できるか※	②ややそう思わない 5時に開店するなら4時から品を並べる 納品も変わってしまう。今は深夜に行っているため。
(9)深夜営業中止によって、納品や清掃など従来客の少ない夜間に済ましていた作業は影響を受けると思うか※	④ややそう思う 深夜営業を中止しても、誰かが掃除等を深夜に行う。
(10)深夜営業時の利益と費用はどちらが大きい	わからない。 深夜の売上比率が高いため
こぼれ話	深夜に女性の駆け込みがある（防犯面）年2回ほど おじいちゃんの俳諧、道に迷ったこともある。 深夜、カラオケ帰りの若者の利用もある。 深夜にはアイス、お母さん食堂、お酒等が売れる。

表11

⑧5/31(金)11 時～ ファミリーマートつくば筑穂1丁目店

年齢：45 歳

店長歴：4 年

生田、伊藤、根本

実施時間：約 15 分

質問項目	回答
(1)時間帯による忙しさの違いについて	朝と昼
(2)どの時間帯が人手不足か	特にない
(3)24 時間営業をやめた場合のメリット・デメリット	<p>【メリット】</p> <p>利益が増える。24 時間営業は損。</p> <p>【デメリット】</p> <p>人のマネジメントが難しい。</p> <p>(例)</p> <p>例えば 24 時閉店 6 時開店だと、24 時までの人、6 時から仕事に入ってくれる人を探す必要。</p> <p>24 時間営業だと夜勤に入ってくれる人を探せば良い。</p> <p>間が埋まり、人のローテーションは楽になる。</p> <p>24 時まで働いてくれる人を見つけるほうが大変</p>
(4)夜間営業停止は昼間の売り上げに影響すると思うか※	<p>④やや思う</p> <p>夜間やってないと印象はある。いつでもオープンだと、人はしやすい</p> <p>閉店前ギリの時間、かけこみをためらうところはある。</p> <p>閉店前と開店直後の時間に影響。間接的には昼にも影響。夜間もやっているほうが足は向く。心理的にはある。</p>
(5)同一チェーンの他店舗の深夜営業停止は、自店の深夜営業に影響すると思うか※	<p>③どちらともいえない。若干。</p> <p>プラスの要素はゼロでない。この辺りの立地だと、深夜 2 時とかほんと 1 時間に 2～3 のお客様しか来ないため、増えたとしても利益になる程ではない。誤差</p>
(6)深夜営業を中止したいか	<p>特に。別にしたくない。</p> <p>もう 1 店舗やっていて店にもよるけれど、どれくらいの幅で売り上げがあるかどうかが関係する。間口の問題がある。大通り沿いだと、商圈も比較的狭くない。間口を広くしといて、人のローテーションの問題もある。短期的に見れば、利益はあるだろうが、深夜も開けていたほうが労力的には少なく済む。毎月の深夜の人件費の分は得するだろうけど、いろんな要素を考えたらこの店舗は深夜もやったほうがいい。</p>
(7)仮に中止するとしたら、どの時間帯に中止したいか	客が少ない 24～6 時

	<p>セイコーマートのことについて（24 時間営業でなく 6 時から開店）</p> <p>逆に 5 時から開けるのはつらいかな。</p> <p>7～23（セブンイレブン）だったら、負担なく効率よく稼げる。しかし、開店直後、閉店直前の売上が下がってしまったら深夜営業を止める意味。</p>
(8)深夜営業を中止することで起こりうる、朝の開店直後や夜の閉店間際に品揃えが悪くなってしまうことを容認できるか※	<p>①</p> <p>それは避けたい。行っても商品がなければしょうがない。どうせやるなら、店が空いている時間はしっかりものがあつたほうがいい。</p>
(9)深夜営業中止によって、納品や清掃など従来客の少ない夜間に済ましていた作業は影響を受けると思うか※	<p>③（どちらでも）だけど、当店だと②（やや思わない）</p> <p>そこまで、深夜に仕事をあてがってない。</p> <p>清掃は午前中 11 時とかの暇な時間にやる。</p> <p>納品が無人の時には成り立たない。納品を考慮すると③か④</p> <p>スタッフの負担で言えば②</p>
(10)深夜営業時の利益と費用はどちらが大きいか	<p>費用が大きい、間違いなく</p> <p>金銭的なサポートは本部からあるが利益マイナスの分を、補填できるかっていえば無理。</p> <p>2～3 倍もらわないと、とんとんにならない。</p> <p>深夜時給 1100 円は超える。お客様 2 だとして客単価？ 1500 円。商品の売上から原価ひいて 30%が粗利。2000→400 円くらいの粗利。そこに光熱費とかが入る。</p> <p>せいぜい 1 時間に、200～300 円の利益のために 1100 円くらいの人件費。</p> <p>深夜時間に元が取れているかっていえば、取れてない。</p> <p>ではなぜやっているのかというと、チェーンとしても建前がある。またコンビニはインフラとしての役割。契約（24 時間）にも合意している。</p> <p>個人の都合や、やりたいやりたくないで判断すべきでない。（個人的な意見）</p> <p>スペシャルな場合はある、22 時間働かなあかんとかだったら仕方ない。</p> <p>やるのは金銭的には損であるため、もう少しケア（補助金のようなもの）は欲しい。</p> <p>そもそもの契約の中で、本部と、チェーン全体としての利益がとれればよい。</p>

表 1 2

⑨5/31(金)14時～ セブンイレブンつくば平塚店

年齢：41歳

店長歴：2年

生田、長谷澤、松本

実施時間：約17分



質問項目	回答
(1)時間帯による忙しさの違いについて	どの時間も忙しい。 立地が大学の中のようなものなので学生の生活スタイルに合わせた感じで混む。ピークは昼休み。（1限前、放課後、部活後、夕飯を買う7・8時、夜集まる前）夕方も夜も大学生は元気なため来店する。 落ち着くのは深夜1時過ぎ
(2)どの時間帯が人手不足か	深夜帯。 時給を上げてでも集まらない。留学生の応募が多く応募が足りないわけではないが、深夜2時までしか入れない（次の日授業）など条件が合わないことが多い。
(3)24時間営業をやめた場合のメリット・デメリット	【メリット】 通常より高い2割増しの賃金を払わなくてよくなる。 【デメリット】 深夜に納品されるカップラーメンやお菓子などは周囲のセブンイレブンを順に回ってくるのでそれを変えることはできず、深夜に誰かが在中しなければならない。1～2時にならないとお客さんはひかないし、その時間でも利益がある。（お酒やお菓子など1回の買い物で大きな金額であることが多い。それがなくなると売り上げに響く。）
(4)夜間営業停止は昼間の売り上げに影響すると思うか※	⑤（昼間の売り上げに影響はない） 立地的に大学生が利用するため、昼も来てくれる。ライフスタイルの一部となっていると思う。
(5)同一チェーンの他店舗の深夜営業停止は、自店の深夜営業に影響すると思うか※	④（影響すると思う）（途中で意見変わってきた） セブン特有の商品を買いに来てくれると思う。でも天4のセブンが閉まっても途中の天3ローソンに行ってしまう可能性あり。ローソンが閉まれば一番影響ある
(6)深夜営業を中止したいか	オーナーが上にいるため自分では決められないが、売り上げが悪くなることや人が足りないなど条件が揃ったらやめてもいいと思う。 オーナーは3店舗やっているうちの深夜に人手不足の店舗の深夜営業を中止しようと本部に掛け合っているが話し合は難航している。本部が柔軟な対応になったとはい

	え一筋縄ではいかない。（らしい）（中止した店舗から人手の足りない店舗に人を回すなどの対策）
(7)仮に中止するとしたら、どの時間帯に中止したいか	1・2時～5時 お客さんが減る時間である。朝早くから出勤される方もいるため5時には開けたい。
(8)深夜営業を中止することで起こりうる、朝の開店直後や夜の閉店間際に品揃えが悪くなってしまうことを容認できるか※	①（容認できない。） 売るものがないとお客さんが来てくれなくなる。 物がないと思われたらお客さんが離れていってしまう。
(9)深夜営業中止によって、納品や清掃など従来客の少ない夜間に済ましていた作業は影響を受けると思うか※	⑤（影響を受けるとおもう） 朝の営業前や、開店中に人数を増やして対応しなければならない。
(10)深夜営業時の利益と費用はどちらが大きい	利益が大きい。深夜営業をやめようとは思わない。

表 1 3

2.3.3 調査結果

・質問項目(1),(2)の回答比較

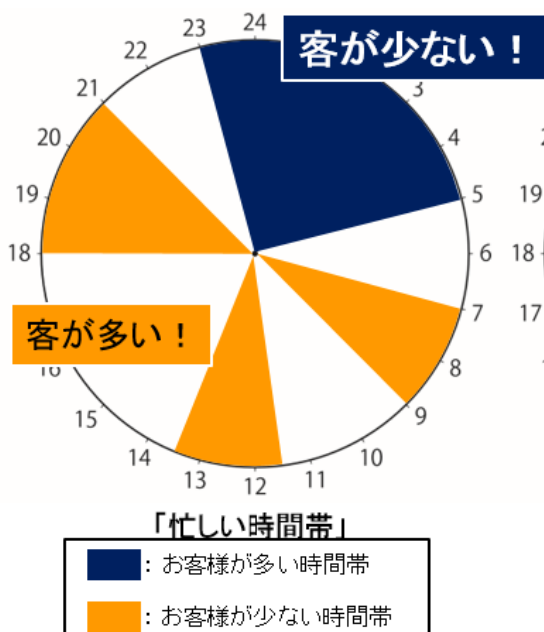


図 2 9

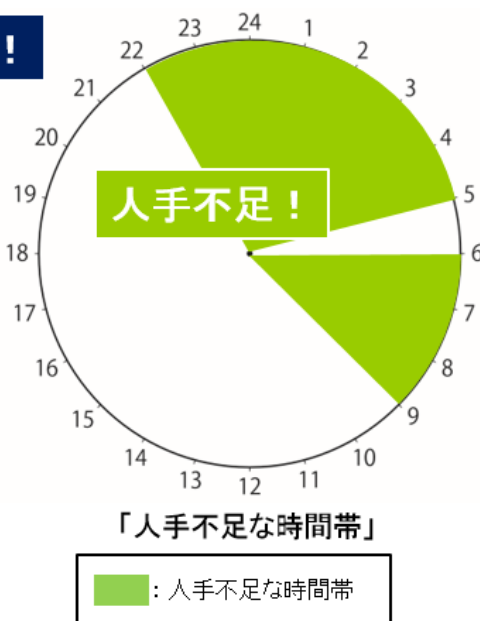


図 3 0

「(1)時間帯による忙しさの違いについて」質問したところ9店舗のうち、出勤前（7-9時）が5店舗、昼頃（11時半-13時半）が7店舗、退勤後（18時-21時）が3店舗と回答があった。時間帯の回答に関しては、具体的な時間をこちらで設定した店舗がいくつかある。一方で、23時～5時頃にかけてお客様は来なくなるといった意見もあった。（図 29）

「(2)どの時間帯が人手不足か」の質問には深夜の人手不足は4店舗、早朝と答えたのは2店舗があった。この2つの質問を比較すると23時～5時にかけて客数は少なく仕事量は少ないに関わらず、人手不足が問題となっていることがわかる。（図 30）原因として、割り増し賃金でも深夜帯にはバイトが集まらないことや納品・清掃作業といった仕事を深夜帯に行う店舗が多数あるためだと分かった。

続いて、アンケートの分析結果について述べる。ヒアリング店舗を回答に合わせてグラフ上にプロットした。凡例は図 31 のようである。

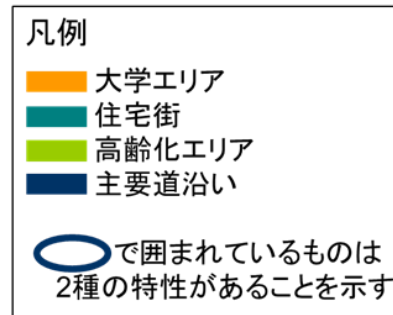


図 31

まず始めは、「24 時間営業を中止したいか」という質問に対し表を作成した。（図 32）

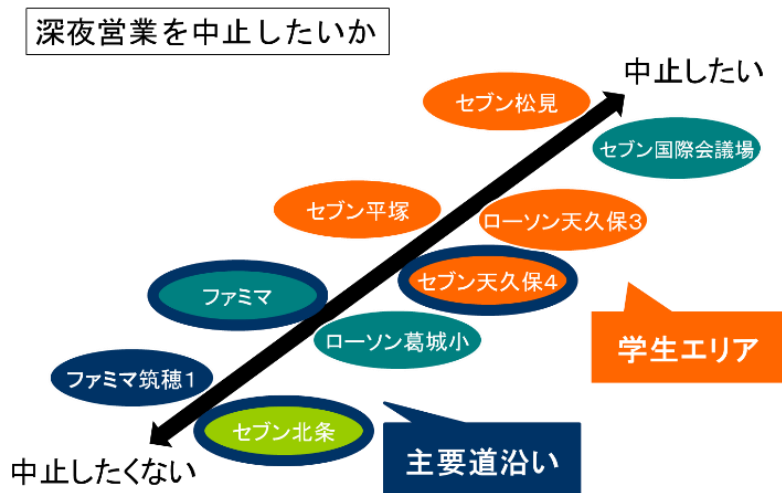


図 32

オレンジ色の大学周辺店舗は中止したい、紺色の主要道沿いの店舗は中止したくないという傾向があった。この理由としては、主要道沿いは深夜もトラックドライバーなどの利用者がいてその人のために開けておきたいという意見があった。

次は十字のグラフの縦軸に回答方法が 2 択の質問、横軸に 5 件法を用いた構造化インタビューの質問をとった図にヒアリング店舗をプロットし表した。

1) 縦軸：深夜営業時に利益とコストどちらが多いか

横軸：深夜営業中止による開店直後や閉店間際の品揃えの悪化を容認できるか

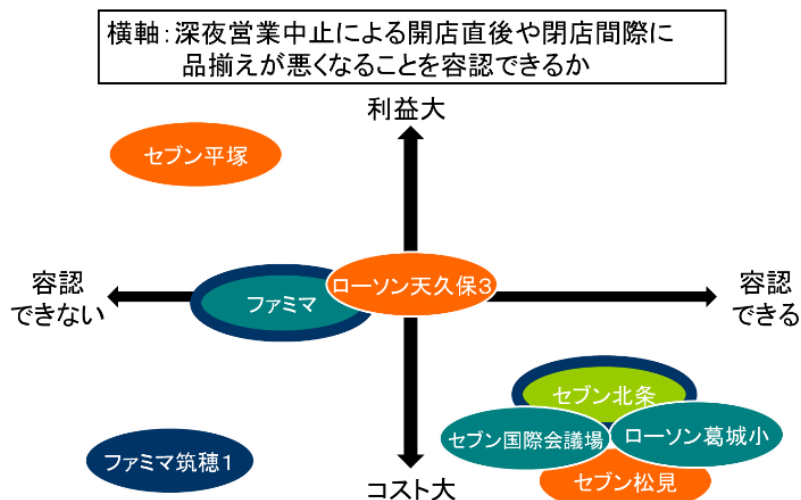


図 33

（図 33）について左上の深夜帯に利益はあるが品ぞろえの悪化を容認できないから右下のコストが多く、品ぞろえの悪化は容認できるにかけて分布する結果となり、深夜営業時に利益がある店舗ほど品ぞろえの悪化を容認できないという結果になった。

2) 縦軸：深夜営業時に利益とコストどちらが多いか

横軸:深夜営業中止により納品や清掃の夜間に済ませていた作業は影響を受けると思う

か

横軸:深夜営業中止により納品や清掃の夜間に済ませていた作業は影響を受けると思うか

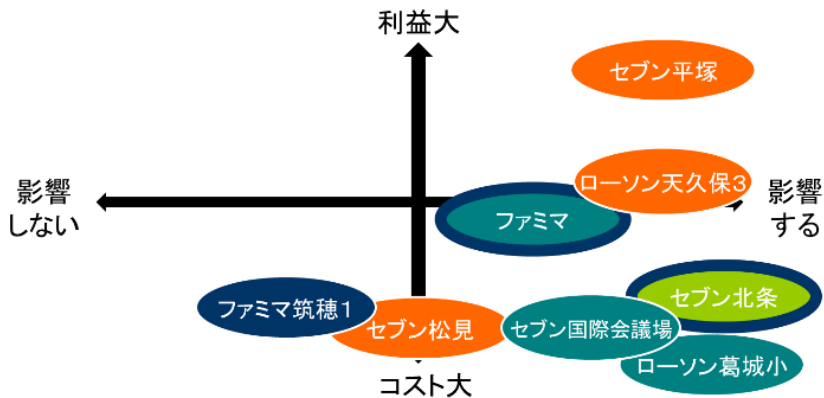


図 34

(図 34) について深夜営業のコストは多いが、夜間に行っていた作業は影響を受けるという右下に多く分布する結果となった。夜間に利益がなくてもやらなくてはならない仕事がある、昼に清掃などの仕事を廻してもその時間の人員を増やさなければならないなどといった意見があった。

3) 縦軸：深夜営業時に利益とコストどちらが多いか

横軸:深夜営業の停止は昼間の売り上げに影響すると思うか

横軸:深夜営業停止による昼間の売り上げへの影響

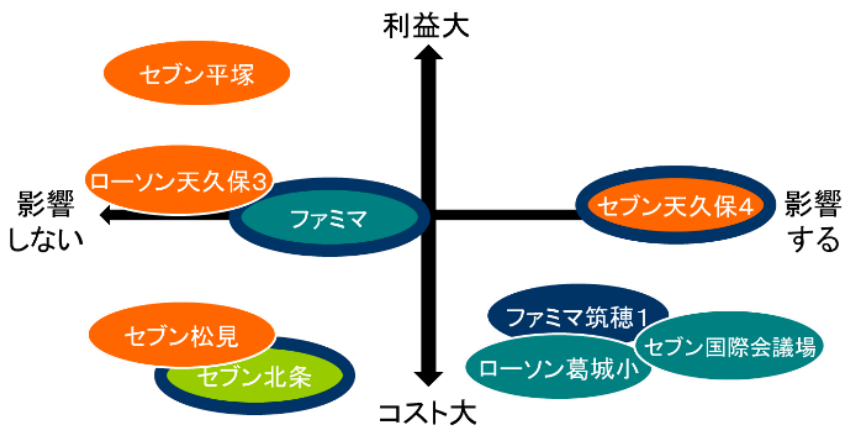


図 35

(図 35) について、まず深夜営業停止は昼間の売り上げに影響するかについて、学生エリアの店舗は左の影響しないに寄るという結果がみられた。その理由としては、大学生には昼間に定期的に訪れる生活のルーティーンがあること、大学生の昼間の生活圏内にあることなどが挙げられた。次は右下の深夜営業時コストが多く、昼前の売り上げにも影響すると答えた店舗も多くみられ、理由としては営業終了間際に客が駆け込みで行く気が起きないのではないか、そして間接的に昼間も客が減るのではないかという意見があった。

続いては縦軸、横軸ともに2択の質問を使って分析をした。

4) 縦軸：深夜営業を中止したいか

横軸：深夜営業時利益とコストどちらが多いか

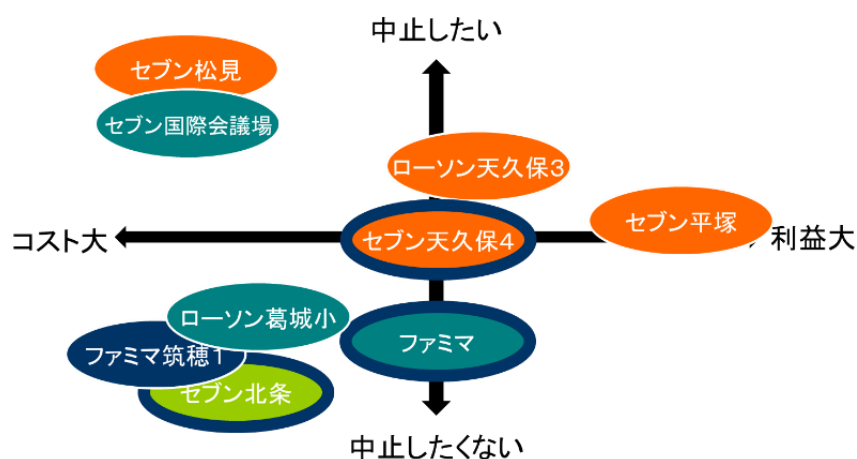


図 36

(図 36) について、右上の深夜営業時に利益があるが中止したいから左下のコストが多いが中止したくないに向かって順に学生街、住宅街、北地区の順に分布した。左下にあるコストが多いにもかかわらず深夜営業を中止したくない店舗については「深夜時間に利益はなくても売り上げを下げたくない、シフトを組むのが難しくなるなど」という意見があり、本部には売り上げを報告するため利益がなくとも売り上げを下げるできない可能性があげられる。

2.4 セイコーマートヒアリング調査

2.4.1 調査概要

24 時間営業を推進していないが、北海道におけるコンビニエンスストア 1 位のセイコーマート（2018 年 1 月時点）の現状を調査する。調査の主な目的として、消費者は近隣のコンビニに類似する店舗の営業時間を把握していることを明らかにする。（目的 1-2）

セイコーマートは現場の FC 店が疲弊していた状況を踏まえ、FC 店から直営店に切り替えたことで 24 時間営業の中止に成功した。また、製造、物流、小売という商品の流れをすべて自社（セイコーマート）が手掛けることも斬新な手法であると考えられる。主に大手コンビニは製造と小売を担っており、物流に関しては下請け業者が担っている。以下（表 14）に調査概要を示す。

方法	セイコーマートにヒアリング調査を行う
対象	セイコーマート関係者
項目	1.東大阪市のセブンイレブンが 24 時間営業を停止した問題についてどう思うか。セイコーマートでも似たような事例はあったか。
	2.「原料生産・製造」「物流・サービス」「小売」の 3 つの事業をセイコーマート自身のグループで行っていることが、貴社の非 24 時間営業を可能とする一因となっていると私たちの班は考えている。これについてどう考えるか。
	3.（3 で独自の経営スタイルが 24 時間営業の一因であった場合）3 で説明させていただいたセイコーマート独自の経営スタイルは、地方だからこそ可能な経営スタイルなのではないかと私たちの班は考えている。全国区である大手コンビニ企業でも、同じような経営スタイルを用いて、24 時間営業を中止することができると思うか。
	4.上記の点以外に、大手コンビニが行う 24 時間営業を貴社が積極的に行わない理由はあるか。
	5.セイコーマートでは、24 時間営業を実施する店舗と実施しない店舗が存在するが、その 2 つにはどのような違いが存在しますか。
	6.道外と道内のそれぞれの貴社の営業において、どのような違いが存在するか。
	7.道外と道内のそれぞれの貴社の営業において、どのような違いが存在するか。
	8.学習院大学の小塚教授は、24 時間営業をやめたとき、閉店しているかもしれないという心理が客に働くのではないかと主張している。セイコーマートでは、そのような事例が実際に存在したか。
	9.大手コンビニ企業は、深夜の営業をやめたとき、昼間の売上も下がってしまうと主張している。大手コンビニ企業のこの主張についてどう考えるか。
	10.私たちの実習の中で、24 時間営業をやめたとき、24 時間営業を求める人たちの声は無視されてしまうのではないかという意見がある。貴社は 24 時間営業を求めるお客様の声についてはどう考えるか。
	11.現在、東大阪市のセブンイレブンをきっかけにして、コンビニの 24 時間営業について疑問視する声が増えつつある。今後、コンビニ業界において、24 時間営業のスタイルはどのように変化していくと思うか。

2.4.2 調査結果

セイコーマートに上記の内容のヒアリング依頼を行ったが、回答は返ってこなかった。

第3章 まとめ

コンビニ 24 時間営業問題の社会的ジレンマに対して ①企業目線②店舗目線③利用者目線の 3 つの目線から、24 時間営業が不要なコンビニモデルの明確化を行った。

①企業目線では、目的 1-1「政府介入の是非の検討」を行った。タクシーの国内事例から規制緩和によって収益基盤の悪化や事故率の増加を誘発してしまうことが分かった。また、海外事例として韓国とヨーロッパを取り上げた。韓国では、最低賃金の上昇やワークライフバランスの向上により、店舗側の支出が増えたことで、深夜に直前 3 か月赤字の店は契約期間中でも深夜営業停止が可能となった。また、ヨーロッパでは、宗教的理由・労働者保護・小規模小売店舗の保護の観点から日曜・24 時間営業があまり行われていなかった。しかし、2000 年代に規制緩和を求める声が生じたため規制緩和を行ったが、雇用促進効果や売上の増加は見込めず、結果的に規制緩和に否定的な声があがった。これらの事例から、そこに社会的ジレンマ構造があれば政府の介入は「是」であると考ええる。

②店舗目線では、目的 1-3「夜間の営業停止が昼間の売り上げに営業するかどうか」を明らかにした。コンビニエンスストア 9 店舗の店長・オーナーへのヒアリングの結果、深夜営業を中止したい一方で、売上の減少や深夜時に行っていた作業への影響を懸念していることが明らかになった。これらの理由により、コンビニエンスストアは深夜営業停止まで踏み切れないのではないかと考える。

また、目的 1-4「地域特性別にコンビニの深夜利用の差を明らかにする」では、店舗を学生街エリア・住宅街エリア・高齢化エリア・主要道路沿いの 4 つに分類しアンケート調査を行った。調査の結果、学生街エリア店舗は深夜の学生利用があるが、深夜時間帯の人手不足で店長にかかる負担が大きいことが明らかとなった。一方、住宅街エリア店舗においては住民の深夜利用がほぼない。

高齢化エリアも同様に深夜の利用が極めて少なく、深夜営業停止は昼間の売り上げに影響しないと考えている傾向にあった。しかしながら、全体の売上を減らすことを危惧し、深夜帯は利益よりコストの方が大きいものにもかかわらず深夜営業中止には乗り気ではないことが明らかとなった。また同様に主要道沿いの店舗も深夜・早朝の利用者(トラック運転手等)を考慮して深夜営業の中止に意欲的でない傾向にある。これから、コンビニエンスストアの深夜営業に対する考え方は地域特性によって大きく異なることが明らかとなった。また、同エリア内で異なることもあった。

③利用者目線では、目的 1-6「利用者の属性(学生と高齢者)によるコンビニ利用時間帯の差を調査」を、アンケートを用いて行った。アンケートの分析結果から、24 時間営業のコンビニが周辺住環境にもたらす影響について、「防犯面の利益」「移動距離短縮の便益」を感じる人ほどコンビニは周辺環境に良い影響があると考え、「ごみ等による臭気」「コンビニによる周辺住宅街のイメージ悪化」を感じる人ほどコンビニは周辺環境に悪い影響があると考えていることが明らかとなった。また、学生は高齢者よりも、社会全体にとってコンビニは周辺環境に悪い影響があると考えていることも分かった。そして、高齢者は学生に比べて深夜にコンビニを利用しないという結果も得られた。

④目的 2 では「目的 1-2~1-6 より、24 時間営業が不要なコンビニモデル明確化」を行った。上記の調査から、深夜営業が不必要なコンビニモデルについて 5 つの条件が浮上した。それらはそれぞれ、「深夜営業中止が昼間の売り上げに影響しないこと」「つくば市における住宅街エリアと高齢化エリア」「主要道がそばにないこと」「利用者が高齢者が多いこと」「深夜に行うコンビニエンスストアの作業が昼間に影響しないこと」である。

これらの結果から、つくば市において 24 時間営業が必要な地域としては学生街や大通り沿い、不必要な地域としては高齢者が多い地域や住宅街が挙げられる。下図にて、つくば市内で 24 時間営業が不要であると推測される「高齢者が多い地域」「住宅街」を青色で示した。この範囲には今回のヒアリング調査を行った店舗はセブンイレブンつくば国際会議場前店やローソンつくば葛城小学校前店などが当てはまる。ヒアリング結果においてもこの 2 店舗は深夜営業時にコストが多いと回答している。深夜営業中止意思について、つくば国際会議場前店は中止したいと回答しているのでこの店舗については休止してもよいのではないかと考えた。この地域の中には、ほかにも 24 時間営業が不要なコンビニエンスストアが存在しているかもしれない。



图 3-7

第4章 謝辞

本実習でお世話になった皆様に厚く御礼申し上げます。

ヒアリング協力

- ・セブンイレブンつくば国際会議場前店 オーナー 下水流 大介様
- ・セブンイレブンつくば松見公園店 オーナー 古家 泰志様
- ・セブンイレブンつくば北条店 オーナー 寺田 純也様
- ・セブンイレブンつくば平塚店 店長 桜田 由紀子様
- ・セブンイレブンつくば天久保4丁目店 オーナー様
- ・ローソンつくば荻間店 オーナー 関 清一様
- ・ローソンつくば天久保3丁目店 オーナー 鈴木 茂様
- ・ファミリーマートつくば筑穂一丁目店 オーナー 福田 てつふみ様

アンケート協力

- ・竹園碁楽会の皆様
- ・フォークダンスサークル・ウエنزデーの皆様
- ・元気でいよう会の皆様
- ・情報リテラシー 谷口 綾子先生
- ・交通計画 田中 皓介先生
- ・都市リスクマネジメント論 糸井川 栄一先生

担当教員

- ・谷口 綾子先生

担当 TA

- ・木村 航太様

第5章 参考文献

- [1]黒田 祥子・山本 勲：人々はいつ働いているか？―深夜化と正規・非正規雇用の関係―,独立財団法人経済産業研究所『RIETI Discussion Paper Series』,第 11-J-053 号,2011 年 4 月
- [2]高本 真寛, 古村 健太郎:大学生におけるアルバイト就労と精神的健康および修学との関連,教育心理学研究,66 巻 1 号, pp. 14-27,2018 年
- [3]小塚荘一郎:転機のコビニモデル 本部、人手確保に自ら対応を:日本経済新聞,2019 年 4 月 10 日,朝刊
- [4]岡田達也:住居系地域におけるコビニエンスストアの立地が周辺に与える影響に関する研究 ― 第一種低層住居専用地域における建築基準法第 48 条許可に関する一考察 ―,政策研究大学院大学,まちづくりプログラム MJU 16703 岡田 達也(未公刊)
- [5]佐々木 敏・辻 とみ子・片桐 あかね・下田 妙子:コビニエンスストアでの購入食品数と栄養素・食品群摂取量の関係,日本栄養・食料学会誌,53 巻 5 号,pp. 215-226,2000 年
- [6]見角一郎・中出文平:住居系地域へのコビニエンスストア立地が周辺住環境に与える影響に関する研究,1995 年度〔日本都市計画学会〕学術研究論文集,pp.163-168,1995 年 11 月
- [7]木下広章・柴田久・石橋和也・雨宮護・樋野公宏:コビニエンスストアにおける犯罪発生状況と防犯対策に関する考察-福岡警察犯罪発生状況-予防研究アドバイザー制度を通して-,都市計画論文集 51 巻 3 号,pp.350-356,2016 年
- [8]森脇丈子:コビニ利用型の消費行動と日本的買い物習慣-日本でコビニが流行る理由-,商経論叢 (56),pp.1-25,2006 年 3 月
- [9]簡施儀:小売業における家族従業と 24 時間営業についての-考察―台湾における事例研究をもとに-,日本商業学会『流通研究』14 巻 1 号,pp.1-15,2012 年
- [10]野木村忠度:わが国のコビニ規制論の検討-マーケティング・チャネル論からの-考察-,日本経営診断学会論集 15,pp.93-98,2015 年
- [11]長崎千津香・石田章・横山繁樹:コビニエンスストアの利用頻度と消費者属性に関する考察,農業生産技術管理学会誌 14(2),pp.115-120,2007 年
- [12]難波敦子・尾立純子・浅野真智子・瓦家千代子・島田豊治・深蔵紀子・安田直子・山田悦子:コビニエンス・ストアの利用の実態と食生活状況,栄養学会誌 59 巻 3 号,pp.135-145,2001 年
- [13]大石亜希子:24 時間週 7 日経済におけるワーク・ライフ・バランス(特集 労働時間の不安定化と家族生活への影響),大原社会問題研究所雑誌(701),pp.24-39,2017 年 3 月
- [14]李在鎬:日本のコビニエンスストア産業における市場ニーズの変化-アンケート調査を中心として-,星城大学研究紀要(3),pp.107-127.2007 年 3 月
- [15]野木村忠度:わが国のコビニ規制論の検討-マーケティング・チャネル論からの-考察-,日本経営診断学会論集 15,pp.93-98,2015 年
- [16]桑野将司・塚井誠人・三田遼平・高松由彦:個人の外出時間に基づく社会的時間利用構造に関する経年分析,土木学会論文集 D3(土木計画学)67 巻 5 号,pp.1563-1571,2011 年
- [17]土屋 直樹:コビニエンスストアにおける経営と労働,日本労働研究雑誌,pp.41-51,2017 年

付録

2.2 アンケート調査

つくば市におけるコンビニエンスストアの利用実態調査

社会工学類 都市計画実習 社会的ジレンマ班

連絡先：ailove24.10c@gmail.com

2019 年度都市計画実習で、コンビニエンスストアの 24 時間営業に関する調査を行っております。今回、得られたデータをもとに 24 時間営業の必要がないコンビニモデルを調べます。つきましてはお手数ですが、アンケートにご協力頂けますようお願い申し上げます。尚、回答は無記名で行われます。得られた情報は厳重に管理し、すべて統計的に処理されますので、個人が特定されることはありません。回答時間は、5～10 分程度です。



Google フォーム

<https://forms.gle/9w6yK6FUdhHD>

右の QR コード、URL からお答えいただくことも可能です。

Q1. あなたのコンビニ利用に関する質問です。以下の質問にお答えください。

1. 普段、どのコンビニを利用していますか。(複数回答可)	1. セブンイレブン 2. ローソン 3. ファミリーマート 4. ミニストップ 5. セイコーマート 6. 決めていない 7. その他 ()
2. どのくらいの頻度でコンビニを利用しますか。 当てはまる項目に☑し、下線部に利用する回数を入力してください。	<input type="checkbox"/> 日に <input type="checkbox"/> 週に <input type="checkbox"/> 月に 回程度
3. 普段、コンビニを利用する際どの交通手段を最も利用しますか。(複数回答可)	1. 徒歩 2. 自転車 3. バス 4. 電車 5. クルマ 6. 原付(50cc 以下) 7. 自動二輪車(50cc 以上) 8. その他 ()
4. 普段、深夜(22:00～6:00)にコンビニを利用しますか。	全く利用しない 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 よく利用する
5. 普段、深夜(22:00～6:00)のどの時間帯にコンビニを利用しますか。	: ~ : (例: 23:00～1:00)
6. あなたにとって、深夜以外(6:00～22:00)のコンビニエンスストアとはどのような存在ですか。	1. 生活する上で欠かせない 2. 生活する上であったら便利 3. 生活する上でなくてもあまり困らない 4. 生活する上でなくてもよい
7. あなたにとって、深夜(22:00～6:00)のコンビニエンスストアとはどのような存在ですか。	1. 生活する上で欠かせない 2. 生活する上であったら便利 3. 生活する上でなくてもあまり困らない 4. 生活する上でなくてもよい
8. 普段、最も利用するスーパーマーケットを教えてください。(例: カスミ筑波大学店)	
9. Q1-8 のスーパーマーケットの営業時間をどの程度知っていますか。	全く知らない 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 よく知っている

10. Q1-8 のスーパーマーケットの営業時間を教えてください。日によって営業時間が違う場合は、平日の営業時間を教えてください。（どうしても分からない場合は空欄でも構いません）	<div>_____ : _____ ~ _____ : _____</div> <div>(例 : 10:00~22:00)</div>
---	---

Q2. あなたの**深夜以外**の時間帯（**6:00~22:00**）でのコンビニエンスストアの利用頻度に関して、**過去3日間の経験**をもとにお答えください。

1. 深夜以外 の時間帯（ 6:00~22:00 ）にどのくらいの頻度でコンビニを利用しましたか。下線部に利用した回数をお答えください。（学内の丸善を除く）	<div>3日間に _____ 回程度</div>
--	---------------------------

Q3. **Q2-1 で 1 回以上と答えた方にお聞きします**。あなたのコンビニエンスストアの利用状況に関して、**過去3日間の中で最も直近の経験**をもとにお答えください。

1. 最も直近の1回で、深夜以外 の時間帯（ 6:00~22:00 ）に、なぜコンビニを利用しましたか。（複数回答可）	1. コンビニエンスストアが良くて利用している 2. 他に利用したい店がないので利用している 3. 他の店が混んでいるので利用している 4. 他に開いている店がないので利用している 5.なんとなく利用している 6. 時間がないので仕方なく利用している 7. 通り道にあったので利用している 8. 距離が近いので利用している 9. その他（ _____ ）
2. 深夜以外での最も直近の1回で 、お金をいくら使いましたか。下線部に支払った金額を可能な限り詳しく記入してください。	<div>直近の1回で _____ 円程度</div>
3. 深夜以外での最も直近の1回で 、どのようなモノ・サービスを購入または利用しましたか。（複数回答可）	1. 食事 2. 間食 3. コンビニコーヒー 4. 酒類 5. その他飲料 6. タバコ 7. 日用品 8. 印刷 9. 本・雑誌 10. ATM 11. 公共料金 12. 収納代行サービス(オンライン決済) 13. その他（ _____ ）
4. 深夜以外での最も直近の1回で 、どのような交通手段を用いましたか。	1. 徒歩 2. 自転車 3. バス 4. 電車 5. クルマ 6. 原付(50cc 以下) 7. 自動二輪車(50cc 以上) 8. その他（ _____ ）

Q4. あなたの**深夜**の時間帯（**22:00~6:00**）でのコンビニエンスストアの利用頻度に関して、**過去3日間の経験**をもとにお答えください。

1. 深夜 の時間帯（ 22 : 00~6 : 00 ）にどのくらいの頻度でコンビニを利用しましたか。下線部に利用した回数をお答えください。	<div>3日間に _____ 回程度</div>
--	---------------------------

Q5. **Q4-1で1回以上と答えた方にお聞きします。**あなたのコンビニエンスストアの利用状況に関して、過去3日間の中で**最も直近の経験**をもとにお答えください。

1. 最も直近の1回で、深夜の時間帯（22：00～6：00）に、なぜコンビニを利用しましたか。 （複数回答可）	1. コンビニエンスストアが良くて利用している 2. 他に利用したい店がないので利用している 3. 他の店が混んでいるので利用している 4. 他に開いている店がないので利用している 5. なんとなく利用している 6. 時間がないので仕方なく利用している 7. 通り道にあったので利用している 8. 距離が近いので利用している 9. その他（ ）
2. 深夜での最も直近の1回で、お金をいくら使いましたか。 下線部に支払った金額を可能な限り詳しく記入してください。	<div style="text-align: center;"> <u>直近の1回で</u> <u>円程度</u> </div>
3. 深夜での最も直近の1回で、どのようなモノ・サービスにお金を使いましたか。 （複数回答可）	1. 食事 2. 間食 3. コンビニコーヒー 4. 酒類 5. その他飲料 6. タバコ 7. 日用品 8. 印刷 9. 本・雑誌 10. ATM 11. 公共料金 12. 収納代行サービス(オンライン決済) 13. その他（ ）
4. 深夜での最も直近の1回で、どのような交通手段を用いましたか。	1. 徒歩 2. 自転車 3. バス 4. 電車 5. クルマ 6. 原付(50cc 以下) 7. 自動二輪車(50cc 以上) 8. その他（ ）
5. 深夜での最も直近の1回は、深夜帯に行く必要があったと思いますか。	全く思わない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 非常に思う

Q6. コンビニエンスストアの24時間営業に対する意識についてお伺いします。最もあてはまる数字に○を付けてください。

1. あなたは深夜営業を中止したコンビニについて、昼間に同じコンビニを利用すると思いますか。	全く思わない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 非常に思う
2. あなたは深夜営業を中止したコンビニの営業時間を把握していない場合、そのコンビニを利用すると思いますか。	全く思わない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 非常に思う
3. あなたは24時間営業中止に寛容な大手コンビニチェーンを積極的に利用すると思いますか。	全く思わない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 非常に思う
4. あなたの周りの人々は、24時間営業中止に寛容な大手コンビニチェーンを積極的に利用すると思いますか。	全く思わない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 非常に思う
5. 一般の人々は24時間営業中止に寛容な大手コンビニチェーンを積極的に利用すると思いますか。	全く思わない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 非常に思う
6. あなたは24時間営業中止に慎重な大手コンビニチェーンを積極的に利用すると思いますか。	全く思わない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 非常に思う
7. あなたの周りの人々は、24時間営業中止に慎重な大手コンビニチェーンを積極的に利用すると思いますか。	全く思わない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 非常に思う

8. 一般の人々 は 24 時間営業 中止に慎重 な大手コンビニチェーンを積極的に利用すると思いますか。	全く思わない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 非常に思う
9. あなた自身 はコンビニの 24 時間営業について、賛成ですか。反対ですか。	反対 1 — 2 — 3 — 4 — 5 賛成
10. あなたの周りの人々 は、コンビニの 24 時間営業について、賛成だと思いますか。反対だと思いますか。	反対 1 — 2 — 3 — 4 — 5 賛成
11. 一般の人々 は、コンビニの 24 時間営業について、賛成だと思いますか。反対だと思いますか。	反対 1 — 2 — 3 — 4 — 5 賛成

Q7. あなた自身とあなたが社会全体を考えたときのコンビニエンスストアに対する意識についてお伺いします。最もあてはまる数字に○を付けてください。

1. あなたはコンビニがあることで、移動距離（時間）が短くなることによる利益を得ていると思いますか。	全く思わない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 非常に思う
2. 社会全体としてはコンビニがあることで、移動距離（時間）が短くなることによる利益を得ていると思いますか。	全く思わない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 非常に思う
3. あなたはコンビニがあることによって、いざというときに駆け込めるという防犯面での利益を得ていると思いますか。	全く思わない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 非常に思う
4. 社会全体としてはコンビニがあることによって、いざというときに駆け込めるという防犯面での利益を得ていると思いますか。	全く思わない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 非常に思う
5. あなたはコンビニがあることによって、道が明るくなることによる防犯面での利益を得ていると思いますか。	全く思わない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 非常に思う
6. 社会全体としてはコンビニがあることによって、道が明るくなることによる防犯面での利益を得ていると思いますか。	全く思わない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 非常に思う
7. あなたはコンビニがあることによって、不法駐車・駐輪に対して不利益を被っていると思いますか。	全く思わない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 非常に思う
8. 社会全体としてはコンビニがあることによって、不法駐車・駐輪に対して不利益を被っていると思いますか。	全く思わない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 非常に思う
9. あなたはコンビニがあることによって、周辺環境に 良い 影響があると思いますか。	全く思わない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 非常に思う
10. 社会全体としてはコンビニがあることによって、周辺環境に 良い 影響があると思いますか。	全く思わない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 非常に思う
11. あなたはコンビニがあることによって、周辺環境に 悪い 影響があると思いますか。	全く思わない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 非常に思う
12. 社会全体としてはコンビニがあることによって、周辺環境に 悪い 影響があると思いますか。	全く思わない 1 — 2 — 3 — 4 — 5 非常に思う

Q8. あなたの自宅から最も近いコンビニエンスストアについて考えて、それに対する印象についてお伺いします。最もあてはまる数字に○を付けてください。

1. あなたの自宅から最も近いコンビニについて、あなたはコンビニがあることで、光が眩しいことによる不利益を感じますか。	全く感じない 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 非常に感じる
2. あなたの自宅から最も近いコンビニについて、あなたはコンビニがあることで、臭気による不利益を感じますか。	全く感じない 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 非常に感じる
3. あなたの自宅から最も近いコンビニについて、あなたはコンビニがあることで、周辺の住宅街のイメージが悪化していると感じますか。	全く感じない 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 非常に感じる
4. あなたの自宅から最も近いコンビニについて、あなたはコンビニがあることで、周辺道路の交通量が多いと感じますか。	全く感じない 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 非常に感じる
5. あなたの自宅から最も近いコンビニについて、あなたはコンビニがあることで、騒音を感じますか。	全く感じない 1 --- 2 --- 3 --- 4 --- 5 非常に感じる

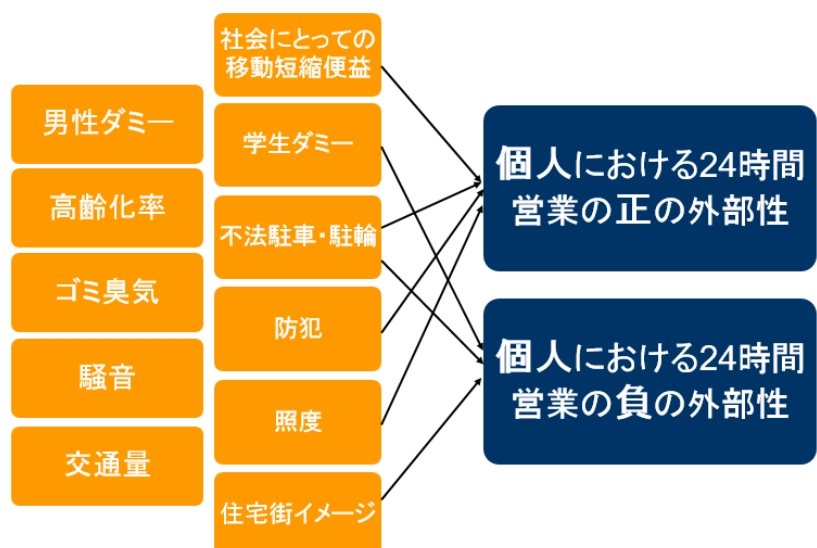
Q9. 「あなた」に関する質問です。以下の質問にお答えください。

1. あなたの居住形態を教えてください。	1.実家 2.一人暮らし 3.シェアハウス 4.その他 ()	
2. あなたのお住まいを教えてください。1～3の中から当てはまる番号に○をしてください。 そして、1か2に○をつけた方は右の空欄に住所を記入し、3に○をつけた方は宿舍名に○をつけてください。	<div> <div>1.集合住宅</div> <div>2.戸建て住宅</div> <div>3.宿舍</div> </div> <div>住所</div> <div>宿舍</div>	<div>市・区・町・村 丁目</div> <div>記入例： つくば 市 区・町・村 天久保 3 丁目</div> <div>1.一の矢 2.平砂 3.追越 4.春日 5.グローバルヴィレッジ</div>
3. 普段、1週間にどれくらい朝食を食べますか。	週 日程度	
4. 今朝、何時に起床しましたか。下線部に起床時間帯を記入してください。（24 時間表記）例：7：30 くらい	： くらい	
5. 昨晚、何時に就寝しましたか。下線部に就寝時間帯を記入してください。（24 時間表記）例：23：00 くらい	： くらい	
6. あなたの所属を教えてください。	(学類 主専攻)	
7. あなたの学年を教えてください。	(年)	
8. あなたの性別を教えてください。	1.男性 2.女性 3.どちらでもない 4.回答しない	

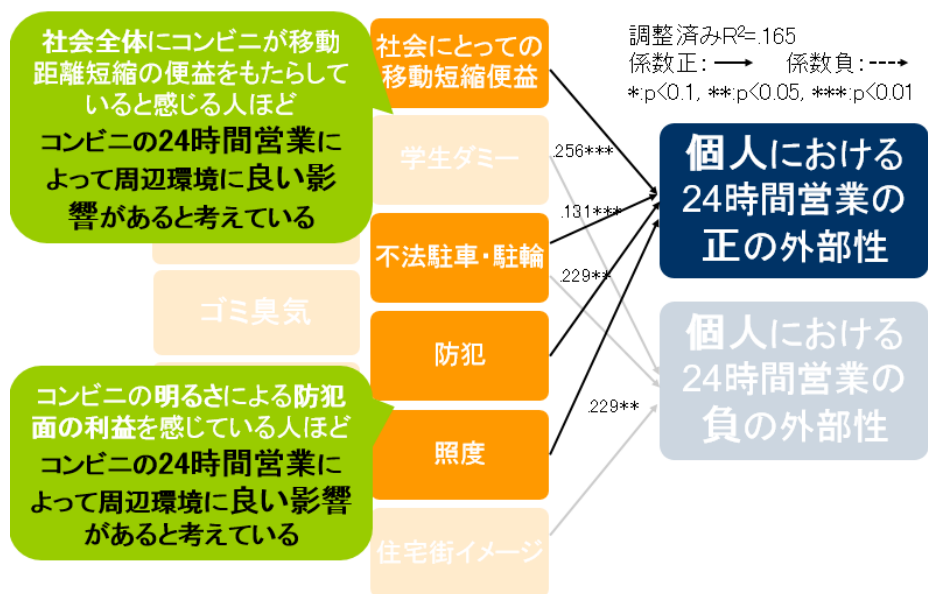
Q10. コンビニエンスストアの 24 時間営業について思うことがあれば、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

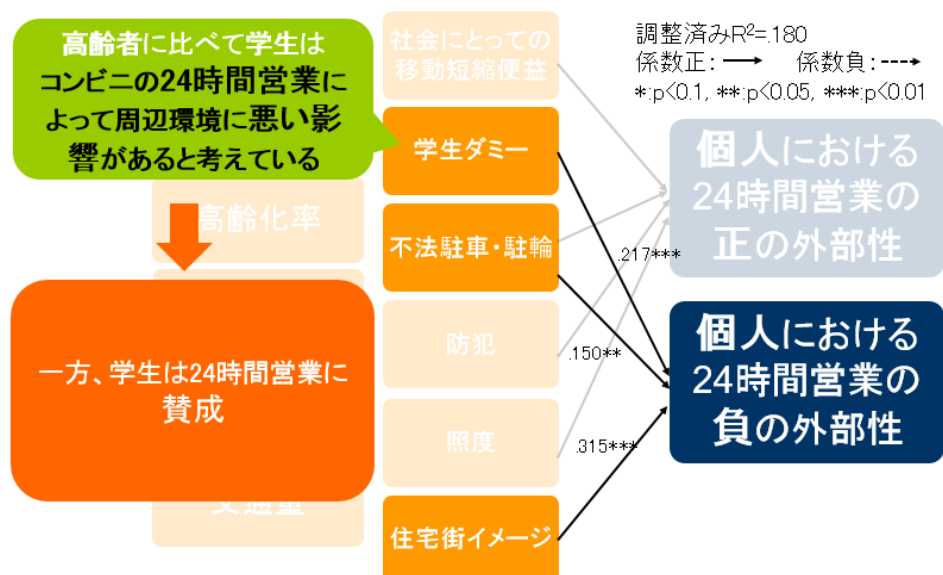
1) 個人の外部性 仮設モデル(目的 1-5 地域特性別周辺住環境への影響の把握に対応)



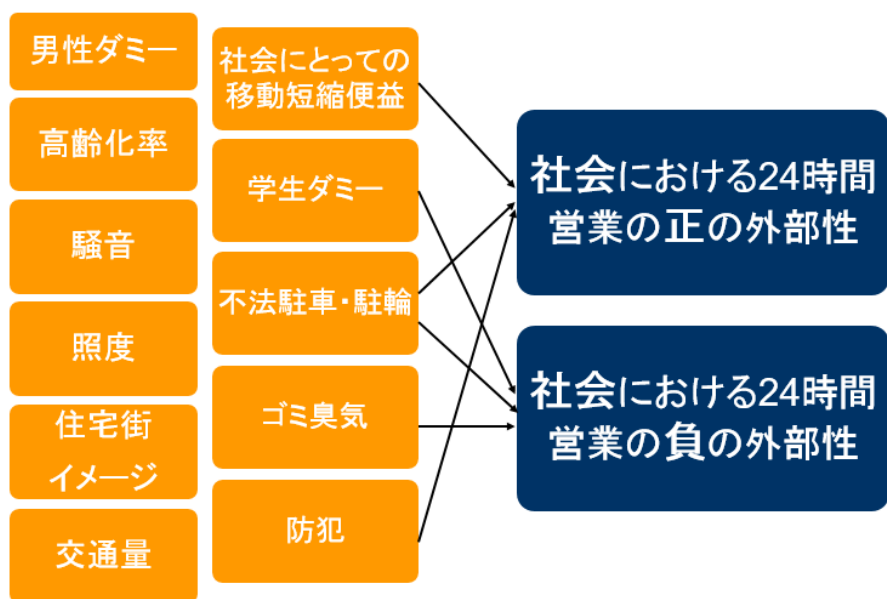
2) 正の外部性 結果



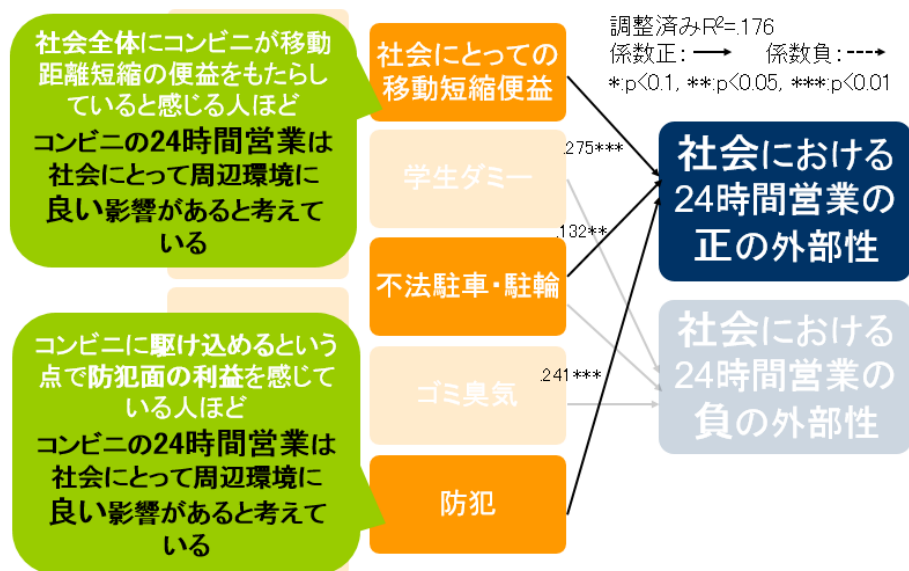
3) 負の外部性 結果



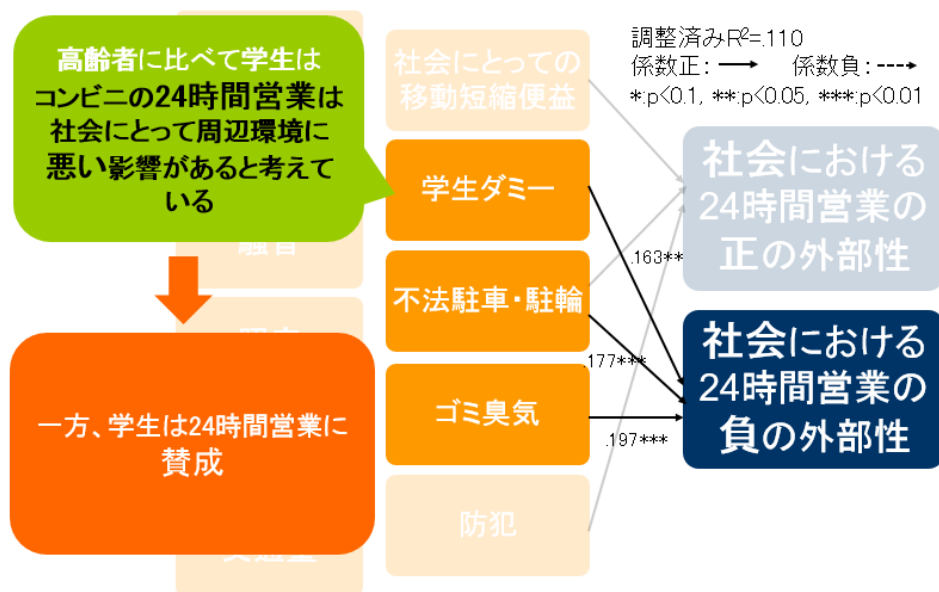
4) 社会の外部性 仮設モデル(目的 1-5 地域特性別周辺住環境への影響の把握に対応)



5) 正の外部性 結果



6) 負の外部性 結果

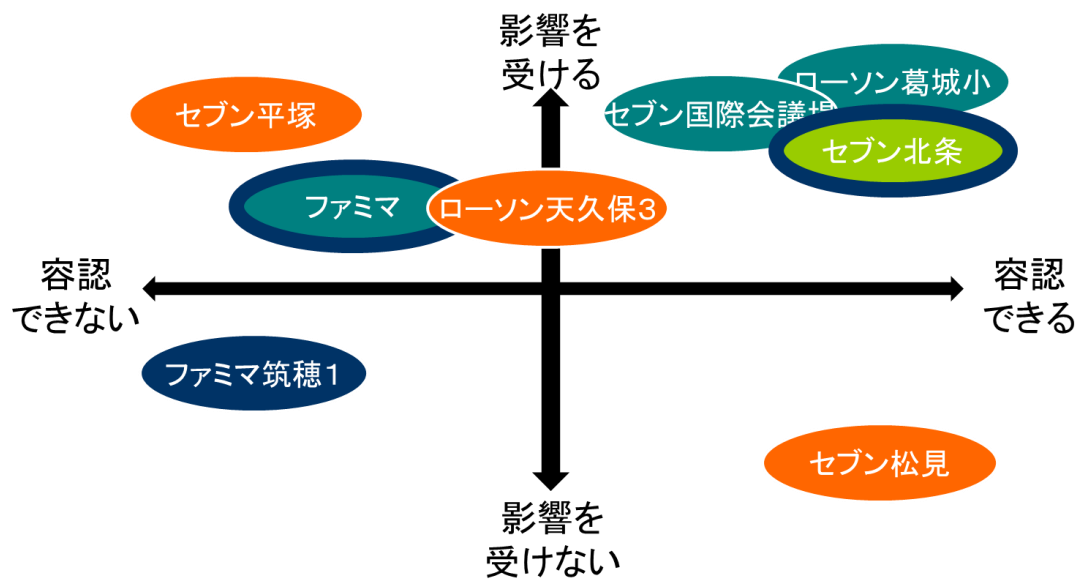


2.3 ヒアリング調査分析図

1)

縦軸：深夜営業中止により納品や清掃の夜間に済ましていた作業は影響を受けると思うか

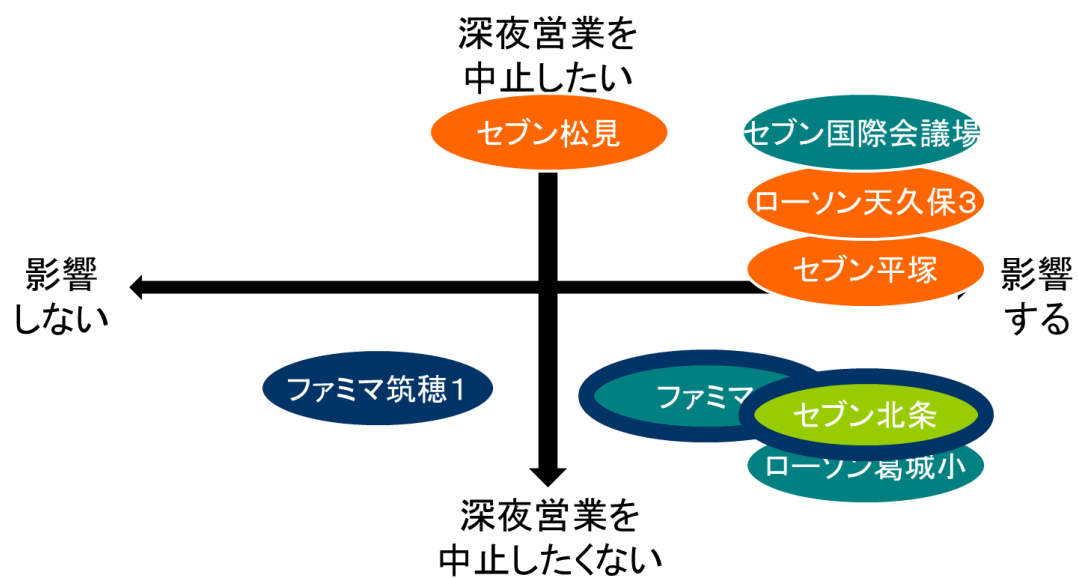
横軸：深夜営業を中止による開店直後や閉店間際に品揃えが悪くなることを容認できるか



2)

縦軸：深夜営業を中止したいか

横軸：深夜営業中止により納品や清掃の夜間に済ましていた作業は影響を受けると思うか



3)

縦軸：深夜営業を中止したいか

横軸：深夜営業を中止による開店直後や閉店間際に品揃えが悪くなることを容認できるか

